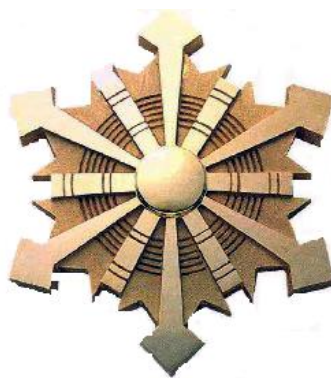


令和3年版

消 防 年 報



(令和4年刊行)

菊 川 市 消 防 本 部

は　　じ　　め　　に

この年報は、令和３年中の菊川市管内における消防諸般の状況を収録刊行したもので、合理的な運営と効果的な消防行政を推進するために、消防業務の内容・火災・救急統計等を中心に編集しました。

消防行政の現況をご理解いただくとともに、防火思想の高揚を図るためご活用いただければ幸いに存じます。

なお、統計については原則として暦年をもって表し、それ以外のものについては頭注に年月日を記載してあります。

また、職員関係は令和４年４月の組織で記載いたします。

令和４年６月

菊 川 市 消 防 本 部

目 次

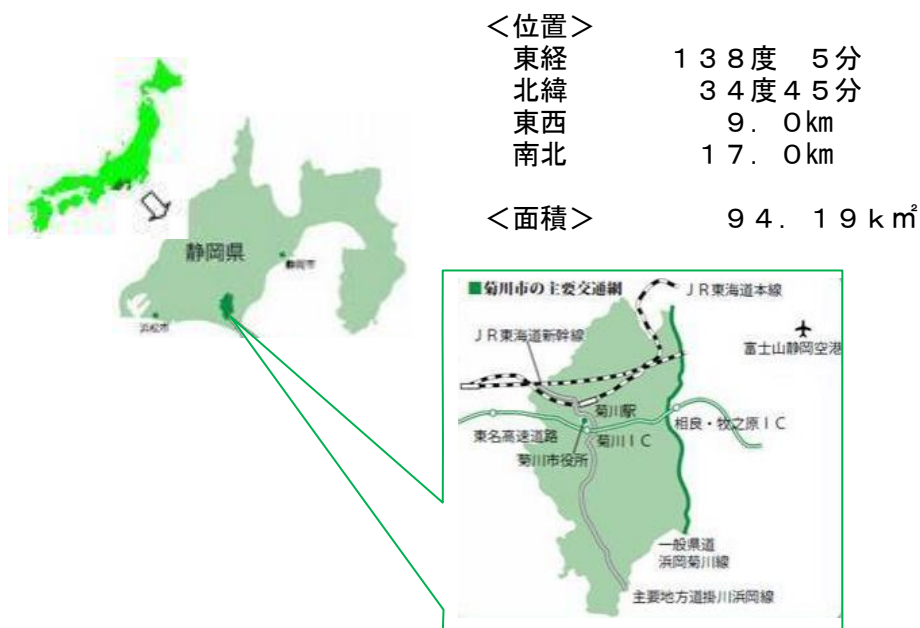
市の情勢	-----	- 1 -
庶務関係	-----	- 8 -
予防関係	-----	- 19 -
火災関係	-----	- 31 -
救急・救助関係	-----	- 43 -
通信関係・その他	-----	- 57 -
消防団関係	-----	- 66 -

市の情勢

目	次
---	---

菊川市の位置と管内情勢	-----	- 2 -
消防管轄区域	-----	- 3 -
消防施設	-----	- 3 -
消防費（予算額）と職員・人口・世帯と比較	-----	- 4 -
常備消防と面積・世帯・人口割り	-----	- 4 -
菊川消防の歴代消防長・消防署長	-----	- 4 -
菊川市消防本部のあゆみ	-----	- 5 -

菊川市の位置と管内情勢



<地理的条件>

菊川市は、静岡県の中西部に位置し、東側に日本一の大茶園牧之原台地を擁し、南側に市内を縦断する一級河川菊川が流れ込む遠州灘を望み、北西側は掛川市に接する、温暖な気候に恵まれた自然豊かな地域です。

地目別面積は農用地34.88km²、山林・原野25.58km²、宅地11.41km²、その他22.32km²となります。

地域内には、JR東海道本線菊川駅、東名高速道路菊川インターチェンジを有し、また近隣にはJR東海道新幹線掛川駅、御前崎港、富士山静岡空港を有することから、利便性に恵まれた将来性豊かな地域となっています。

<菊川市の市章>



菊の花と菊川の流れをモチーフに、2町が合併し一つの市となる様子をデザインし、菊川茶に代表される自然を生かした、産業豊かな市の特徴を、2色の緑で表現されています。現在から未来へと受け継がれる、人と緑が共にいきいきと発展する姿を市章に表しました。

<菊川市の木・鳥・花>

茶



キセキレイ



菊



消 防 管 轄 区 域



<管轄区域>

- ・ 菊川市内全域
- ・ 東名高速上り
菊川IC ～ 相良・牧之原IC
- ・ 東名高速下り
菊川IC ～ 掛川IC

消 防 施 設

名称	所在地	種別及び棟数	面積 (㎡)		建築年月
			建築	敷地	
菊川市消防本部 菊川市消防署	静岡県菊川市 東横地385番地	庁舎棟 1棟 車庫棟 1棟 訓練塔 1棟	1,786.54	6,879.10	平成26年 1月



菊川市消防庁舎

消防費（予算額）と職員・人口・世帯と比較

（各年４月１日）

年度	消防費 （千円）	世帯		人口		消防本部 所管予算 （９款１項１目～３目）	消防職員	
		世帯数	一世帯当たり （円）	人口	一人当たり （円）		人数	一人当たり （千円）
令和２年度	767,071	18,162	42,235	48,474	15,824	597,620	62	9,639
令和３年度	808,189	18,335	44,079	48,066	16,814	701,090	64	10,955
令和４年度	759,016	18,479	41,075	47,720	15,906	668,485	64	10,445

※補正予算は含めない

常備消防と面積・世帯・人口割り

（住民基本台帳＋外国籍 令和４年４月１日）

区分	面積 (94.19 km ²)	世帯数：18,479 戸	総人口：47,720 人
		(外国人：1,631 戸)	(外国人：3,544 人)
消防吏員（62 人）１人当たり	1.52 km ²	298 戸	770 人
全救急車（３台）１台当たり	31.4 km ²	6,160 戸	15,907 人

菊川消防の歴代消防長・消防署長

【消防長】

代	氏 名	在 職 期 間
初 代	山 内 均	平成 17 年 4 月 ～ 平成 19 年 3 月
2 代	横 山 静 雄	平成 19 年 4 月 ～ 平成 21 年 3 月
3 代	岡 本 吉 弘	平成 21 年 4 月 ～ 平成 24 年 3 月
4 代	横 山 克 喜	平成 24 年 4 月 ～ 平成 25 年 3 月
5 代	坂 部 浩 之	平成 25 年 4 月 ～ 平成 31 年 3 月
6 代	稲 垣 裕 次	平成 31 年 4 月 ～ 令和 2 年 3 月
7 代	野 中 治 彦	令和 2 年 4 月 ～ 令和 4 年 3 月
8 代	八 木 一 巳	令和 4 年 4 月 ～ 現 在 に 至 る

【消防署長】

代	氏 名	在 職 期 間
初 代	岡 本 吉 弘	平成 17 年 4 月 ～ 平成 18 年 3 月
2 代	村 松 信 義	平成 18 年 4 月 ～ 平成 20 年 3 月
3 代	八 木 澄 雄	平成 20 年 4 月 ～ 平成 22 年 3 月
4 代	渡 邊 政 幸	平成 22 年 4 月 ～ 平成 25 年 3 月
5 代	井 指 孝 志	平成 25 年 4 月 ～ 平成 28 年 3 月
6 代	野 中 治 彦	平成 28 年 4 月 ～ 令和 2 年 3 月
7 代	二 俣 章太郎	令和 2 年 4 月 ～ 現 在 に 至 る

菊川市消防本部のあゆみ

年 月		変 遷
昭和44年	2月	東名高速道路全線開通により菊川町消防本部を設置、救急業務を開始
昭和45年	4月	消防業務を開始し、消防団常備部を廃止、職員18名
昭和47年	4月	小笠地区消防組合発足（4町1村）職員27名
昭和48年	4月	大浜町と城東村合併、大東町となる（4町の組合となる）職員40名
	5月	消防本署庁舎完成（菊川町半済1776-1）業務を開始
	6月	南分所庁舎完成（大須賀町大淵）業務開始、職員43名
昭和49年	6月	中分所庁舎完成（小笠町大石）業務開始、職員55名
昭和51年	9月	本署車庫増設、職員58名
昭和55年	4月	職員定数条例を改正63名
	9月	本署庁舎3階会議室増築
平成3年	4月	職員定数条例を改正70名
	12月	通信指令室整備のため庁舎2階を改装、消防緊急情報システム及び救急波整備
平成7年	3月	本署訓練塔設置工事完了
平成8年	4月	職員定数条例を改正75名（職員72名）
平成9年	9月	消防本署庁舎1階車庫耐震補強工事
平成10年	2月	大型水槽付消防車購入（本署配置）
平成11年	4月	職員定数条例を改正83名
平成14年	2月	国・県補助により救助工作車Ⅱ型購入
	7月	南分所新庁舎建設用地取得
平成16年	4月	平成17年3月まで静岡県消防学校へ教官として消防職員1名派遣 消防署南分署（大須賀町大淵14273）業務を開始 南分所、中分所旧庁舎解体工事
平成17年	3月	小笠地区消防組合解散（31日）、南分署は掛川市消防本部南署として運用開始 掛川市消防本部へ職員24名転籍
	4月	小笠地区消防組合の解散に伴い、菊川市半済1776-1に菊川市消防本部・消防署を開設、さらに旧小笠町役場庁舎東館1階に消防署小笠分遣所を開設 職員定数条例制定 消防職員65名 消防職員3名採用、職員59名、臨時職員1名 ＜消防本部及び消防署の状況＞ 職員 消防本部16名・消防署33名（2交替制勤務） 車両 小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型1台、救助工作車Ⅱ型1台、水槽付消防ポンプ車1台 高規格救急車2台、司令車・指揮車・調査車・資機材搬送車・災害広報車各1台を配置 ＜消防署小笠分遣所の状況＞ 職員 10名（2交替制勤務） 車両 水槽付消防ポンプ車1台、2B型救急車1台、調査車1台を配置
平成18年	2月	国庫補助により化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）及び消防無線10W移動局を購入（消防署）
	4月	消防職員4名採用、職員61名、臨時職員1名 2交替制勤務を3交替制に変更 職員 消防本部16名・消防署33名 小笠分遣所12名

年 月		変 遷
平成18年	11月	高機能指令台部分更新（菊川市消防本部配置）
平成19年	3月	平成22年3月まで静岡県消防防災航空隊（防災ヘリ）へ消防職員1名派遣
	4月	消防職員4名採用、職員63名、臨時職員1名
	12月	高規格救急車1台を整備し、小笠分遣所に配置
平成20年	4月	消防職員3名採用、職員63名、臨時職員1名
	6月	第37回静岡県消防救助技術大会 引揚救助の部優勝
	7月	関東地区指導会の引揚救助に出場
	12月	水槽付消防ポンプ自動車（菊川3）更新整備、小笠分遣所に配置
平成21年	4月	消防職員3名採用、職員63名、臨時職員1名
		地域活性化・生活対策臨時交付金事業により団指揮広報車（菊川62）更新、消防団本部に配置
	8月	8月11日午前5時7分 駿河湾沖を震源とするマグニチュード6.5 震度6弱の地震が発生 菊川市においても震度5強を観測し、住宅瓦の落下996棟、負傷者15名の被害が発生
	10月	地域活性化・生活対策臨時交付金事業により高規格救急車（救急菊川1）1台更新、消防署に配置 ※全国消防救助技術大会 ロープブリッジ救出の部に出場
平成22年	4月	消防職員4名採用、職員64名、臨時職員1名
		市安全課出向1名、消防本部に企画課設置
	12月	通信指令の広域化の枠組みは中東遠地域となり、指令センターを磐田市に設置することが決定 消防庁舎建設予定地が三沢地区に決定
平成23年	3月	3月11日午後2時46分 宮城沖を震源とするマグニチュード9の東北地方太平洋沖地震発生 菊川市で震度3を観測 3月11日18時緊急消防援助隊静岡県隊として第1次隊出動 3月30日の第6次隊まで派遣
	4月	消防職員5名採用、職員64名、臨時職員1名
		平成25年3月まで静岡県消防学校へ教官として消防職員1名派遣
	9月	台風15号県西部地区上陸、市役所に災害対策本部を設置
平成24年	4月	消防職員3名採用、職員63名、嘱託・臨時職員各1名
		中東遠地区（5市1町）にて中東遠消防指令センター共同運用開始（磐田市福田支所）
平成25年	2月	高規格救急車1台の寄贈を受ける（ＪＡ共済連静岡、ＪＡ遠州夢咲）
	4月	消防職員2名採用、職員62名、嘱託・臨時職員各1名
平成26年	3月	消防庁舎完成 消防庁舎敷地面積6,879.10㎡・庁舎棟[建築面積]1,064.33㎡ 車庫棟[建築面積]648.90㎡・訓練塔[建築面積]73.31㎡
		防災対策の基盤整備として普通乗用車1台の寄贈を受ける（フジオーゼックス株式会社） 同じく、防災対策の基盤整備47型テレビの寄贈を受ける（菊川市危険物安全協会） 旧消防庁舎（本署・小笠分遣所）閉署
	4月	菊川市東横地385番地に新庁舎を開設し運用開始
		消防職員2名採用、職員62名、嘱託・臨時職員各1名
	10月	台風18号に伴い災害対策本部を設置 市内全域に避難勧告発表
平成27年	3月	菊川市消防防災ヘリポート併設 運用開始
		司令車（菊川51）更新整備
	4月	消防職員1名採用、職員61名、嘱託職員1名
平成28年	3月	消防救急デジタル無線 運用開始
	4月	消防職員3名採用、職員62名、嘱託職員1名

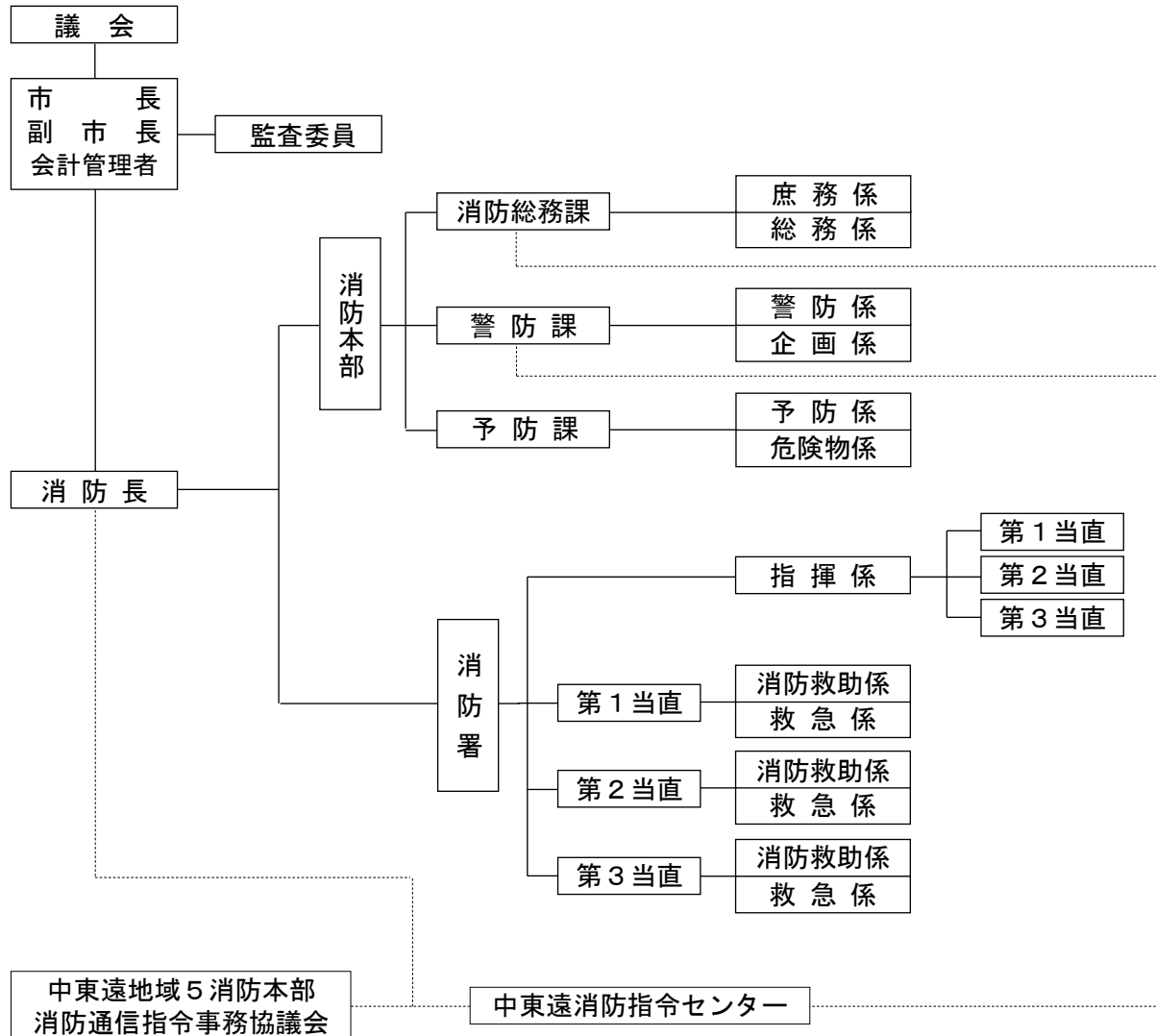
年 月		変 遷
平成28年	4 月	令和元年 8 月まで静岡県消防防災航空隊(防災ヘリ)へ消防職員 1 名派遣
	11月	火災調査車(菊川73) 更新整備
平成29年	3 月	指揮車(菊川指揮 1) 更新整備
	4 月	消防職員 1 名採用、市役所出向 1 名、職員62名、嘱託職員 1 名
	10月	消防ポンプ自動車(菊川ポンプ 1) 更新整備
	12月	高規格救急車(救急菊川 3) 更新整備
平成30年	4 月	消防職員 2 名採用、市役所出向 1 名、職員63名、嘱託職員 1 名
	7 月	台風12号に伴う配備態勢 強風による負傷者 1 名搬送
	9 月	台風24号に伴う配備態勢 台風24号の影響により市内で大規模停電が発生
	11月	緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練 (4 日: 消防本部庁舎、訓練棟及び消防防災ヘリポートにて石川県大隊との合同訓練を実施)
	12月	大型水槽車(菊川水槽 1) 更新整備
	平成31年 4 月	職員62名、嘱託職員 1 名
令和元年	10月	高規格救急車(救急菊川 1) 更新整備 台風19号に伴う災害対策本部を設置 市内全域に避難勧告発表 床上浸水24戸、床下浸水123戸
	令和 2 年 4 月	消防職員 1 名採用、職員 62 名、会計年度任用職員 1 名
令和 3 年	4 月	消防職員 2 名採用、職員 64 名、会計年度任用職員 1 名
	7 月	7 月 3 日熱海市土石流災害発生 静岡県消防相互応援協定により、第 1 次隊出動 8 月 3 日の第 11 次隊まで派遣
令和 4 年	1 月	救助工作車(菊川救助 1) 更新整備
	4 月	静岡県消防学校へ教官として 1 名派遣 消防職員 2 名採用、市役所出向 1 名、職員 64 名、再任用職員 1 名、会計年度任用職員 1 名

目 次

菊川市消防本部組織	-----	- 9 -
消防本部事務分掌	-----	- 10 -
消防署事務分掌	-----	- 13 -
消防職員現勢	-----	- 14 -
1 職員の配置状況	-----	- 14 -
2 階級別年齢及び勤続年数調べ	-----	- 15 -
3 職員研修状況	-----	- 16 -
4 資格所得状況	-----	- 16 -
令和4年度 消防予算	-----	- 17 -
1 市予算と消防予算	-----	- 17 -
2 令和4年度消防費の予算内訳	-----	- 17 -
消防相互応援協定の締結状況	-----	- 18 -
その他の協定等の締結状況	-----	- 18 -

菊 川 市 消 防 本 部 組 織

(令和4年4月1日 現在)



消防本部事務分掌

【 消防総務課 】

〔 庶務係 〕

- ア 組織の総合調整に関する事。
- イ 消防総務課に関する文書の收受、発送及び保管に関する事。
- ウ 各種調査文書の收受及び担当課との調整に関する事。
- エ 条例、規則その他例規の制定改廃に関する事。
- オ 予算及び決算の取りまとめに関する事。
- カ 職員の任免、服務、給与、研修、福利厚生等に関する事。
- キ 公印の保管に関する事。
- ク 儀礼及び交際に関する事。
- ケ 消防職員委員会に関する事。
- コ 表彰に関する事。
- サ 公務災害補償等に関する事。
- シ 庁舎及び財産の維持管理に関する事。
- ス 消防長会の事務に関する事。
- セ 中東遠地域5消防本部消防通信指令事務協議会の事務に関する事。
- ソ その他各課係の所管に属さない事。

〔 総務係 〕

- ア 消防団の組織運営計画に関する事。
- イ 消防団の施設、車両及び機械器具等の保守点検、維持管理に関する事。
- ウ 消防団の蔵置所及び車両等の整備計画に関する事。
- エ 女性消防団に関する事。
- オ 消防団の自主防災組織への協力に関する事。
- カ 消防団活動の広報に関する事。
- キ 市長部局との連絡調整、調整室会議等に関する事。
- ク その他消防団及び総務全般に関する事。

【 警防課 】

〔 警防係 〕

- ア 水火災、地震等の災害の警戒及び防ぎよに関する事。
- イ 警防課に関する文書の収受、発送及び保管に関する事。
- ウ 消防水利及び地理に関する事。
- エ 消防車両及び機械器具等の整備管理に関する事。
- オ 消防業務の安全管理対策に関する事。
- カ 救急業務の運用に関する事。
- キ 消防通信業務の運用に関する事。
- ク 出動指令業務の運用に関する事。
- ケ 通信施設、情報機器等の整備に関する事。
- コ 気象情報及び災害情報の収集及び伝達に関する事。
- サ 同報無線放送の運用に関する事。
- シ 消防救急無線の整備に関する事。
- ス 各種団体等の消防訓練及び講習に関する事。
- セ 警防訓練の計画に関する事。
- ソ 消防の広報及び広聴に関する事。
- タ 火災警報に関する事。
- チ 消防防災団体との連絡調整に関する事。
- ツ 特殊災害に関する事。
- テ 警防本部の設置に関する事。
- ト 貯水槽の設置及び維持管理に関する事。
- ナ 広域消防相互応援及び協定の手続に関する事。
- ニ 中東遠消防指令センターの運用及び機器の整備に関する事。
- ヌ その他警防に関する事。

〔 企画係 〕

- ア 消防計画の作成に関する事。
- イ 消防施設整備計画の作成に関する事。
- ウ 消防団蔵置所の建設に関する事。
- エ 耐震性貯水槽の設置に関する事。
- オ 消防年報の作成に関する事。
- カ 消防救急広域化の協議調整に関する事。
- キ 消防統計及び消防情報に関する事。
- ク その他警防係の補助に関する事。

【 予防課 】

〔 予防係 〕

- ア 火災予防に係る普及、指導及び広報に関すること。
- イ 予防課に関する文書の収受、発送及び保管に関すること。
- ウ 防火管理者の指導育成に関すること。
- エ 煙火消費認可の受付及び統計、立入調査等に関すること。
- オ 防火対象物の規制に関すること。
- カ 消防対象物の査察及び違反処理に関すること。
- キ 建築物の許可、認可及び確認の同意に関すること。
- ク 消防用設備等の検査指導に関すること。
- ケ 防火協力団体の指導育成に関すること。
- コ 火災予防条例に係る届出に関すること。
- サ 消防署との予防事務の調整に関すること。
- シ その他予防に関すること。

〔 危険物係 〕

- ア 危険物施設等の規制に関すること。
- イ 危険物施設等の立入検査並びに違反処理に関すること。
- ウ 危険物取扱者の指導に関すること。
- エ 高圧ガスの消費に係る立入検査等に関すること。
- オ 液化石油ガス設備工事の届出の受理に関すること。
- カ ガス事業法に基づく立入検査等に関すること。
- キ 危険物安全協会の事務に関すること。
- ク 火災の原因及び損害の調査報告に関すること。
- ケ 火災の統計及びり災証明に関すること。
- コ その他危険物に関すること。

消防署事務分掌

〔 指揮係 〕

- ア 災害現場の指揮に関すること。
- イ 消防署に関する文書の収受、発送及び保管に関すること。
- ウ 警防本部の運用支援に関すること。
- エ 火災防ぎょ計画に関すること。
- オ 署員の研修、教養及び訓練に関すること。
- カ 火災予防広報活動並びに火災等の原因及び損害調査に関すること。
- キ 出動指令の実務に関すること。
- ク 消防通信の実務に関すること。
- ケ 通信施設及び情報機械器具等の使用及び維持管理に関すること。
- コ 通信技術の研修及び教養に関すること。
- サ その他消防救助係の補助に関すること。

〔 消防救助係 〕

- ア 水火災、地震等の災害の警戒及び防ぎょの実務に関すること。
- イ 救助業務に関すること。
- ウ 消防水利の維持管理及び地理に関すること。
- エ 車両、消防救助機械器具等の使用及び維持管理に関すること。
- オ 署が所管する防火対象物の予防査察に関すること。
- カ 空地等の調査及び管理指導に関すること。
- キ 署が所管する火災予防条例に係る届出に関すること。
- ク 消防団との連絡共助及び自主防災組織等の訓練指導に関すること。
- ケ 火災及び救助統計に関すること。
- コ 同報無線放送の実務に関すること。
- サ 気象情報及び災害情報の収集及び伝達に関すること。
- シ 中東遠消防指令センターの機器の整備及び保守に関すること。
- ス 火災等の原因及び損害調査に関すること。
- セ その他消防救助に関すること。

〔 救急係 〕

- ア 救急業務に関すること。
- イ 救急統計に関すること。
- ウ 救急法等の講習及び訓練指導に関すること。
- エ 救急機械器具等の使用及び維持管理に関すること。
- オ 救急医療機関その他救急関係機関との連絡及び調整に関すること。
- カ その他救急に関すること。

消防職員現勢

1 職員の配置状況

(令和4年4月1日 現在)

区分 \ 階級		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員	総数
定数		65名							
実数		1	7	22	18	5	9	2	64
消防本部	消防長	1							1
	消防次長		1						1
	消防総務課	消防総務課長						1	4
		庶務係						1	
		総務係		1	1				
	警防課	警防課長						(1)	4(1)
		警防係			2				
		企画係		1	1				
	予防課	予防課長		(1)					4(1)
		予防係			2				
		危険物係			2				
	中東遠消防指令センター				1	1		1	3
消防署	消防署長		1						1
	消防副署長		1						1
	指揮係			1					1
	第1当直	当直司令		(1)					14(1)
		指揮係				1			
		消防救助係			1	3	1	2	
		救急係			2	2	1	1	
	第2当直	当直司令		1					15
		指揮係				1			
		消防救助係			2	2	1	2	
		救急係			2	4			
	第3当直	当直司令		1					15
		指揮係			1				
		消防救助係			2	1	1	3	
		救急係			2	3	1		

※()は兼務

2 階級別年齢及び勤続年数調べ

(令和4年4月1日 現在)

階級 区分		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員	総数
平均年齢		57	50	39	33	27	21	48	
合 計		1	7	22	18	5	9	2	64
年 齢 状 況	20 歳 未 満						4		4
	20 歳 ～ 22 歳						2		2
	23 歳 ～ 25 歳						3		3
	26 歳 ～ 28 歳					4			4
	29 歳 ～ 31 歳				6	1			7
	32 歳 ～ 34 歳				10				10
	35 歳 ～ 37 歳			9	2				11
	38 歳 ～ 40 歳			8					8
	41 歳 ～ 43 歳			4					4
	44 歳 ～ 46 歳		2	1				1	4
	47 歳 ～ 49 歳		2						2
	50 歳 ～ 52 歳							1	1
	53 歳 ～ 55 歳		1						1
	56 歳 以 上	1	2						3

(令和4年4月1日 現在)

階級 区分		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員	総数
平均勤続年数		35	32	19	12	9	3	2	
合 計		1	7	22	18	5	9	2	64
勤 続 年 数 状 況	5 年 未 満						7	2	9
	5 年 ～ 9 年				3	3	2		8
	10 年 ～ 14 年			4	10	2			16
	15 年 ～ 19 年			10	5				15
	20 年 ～ 24 年			5					5
	25 年 ～ 29 年		2	3					5
	30 年 以 上	1	5						6

3 職員研修状況

教育機関・科目			実施年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度
県 消 防 学 校	初任教育	初任科	1	2		1	2	
	幹部教育	上級幹部科	1				1	
		中級幹部科		1	1	1		
	専科教育	警防科	1	1	1	1	1	
		予防査察・危険物科	1	1	1			
		火災調査科	1	1	1	1	1	
		救急科	2	2	2	2	2	
		救助科	1	1	1	1	1	
	特別教育	女性消防吏員講習		1		1		
		指令センター員講習		1		1		
ビデオ喉頭鏡講習		2	1					
救急救命士養成課程			1	1	1	1	1	
指導救命士養成課程				1				

4 資格取得状況

(令和4年4月1日 現在)

	資格名称	取得率	総数			資格名称	取得率	総数		
運転免許	大 型 第 1 種	83.9%	52	予防関係	危険物取扱者	乙 種 1 類	30.6%	19		
	中型第1種（限定8t）	90.3%	56			2 類	27.4%	17		
	普 通 第 1 種	100.0%	62			3 類	21.0%	13		
	大 型 特 殊	4.8%	3			4 類	80.6%	50		
	大 型 自 動 二 輪	9.7%	6			5 類	16.1%	10		
	普 通 自 動 二 輪	30.6%	19			6 類	37.1%	23		
安全管理	小 型 式 移 動 ク レ ー ン	62.9%	39				丙 種	11.3%	7	
	玉 掛 け 技 能 講 習 終 了 者	64.5%	40		予 防 技 術 者 認 定 者		21.0%	11		
	小 型 車 両 建 設 機 械	14.5%	9		危 険 物 技 術 者 認 定 者		17.7%	3		
	高 所 作 業（10m未満）	6.5%	4		無 線	2 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士	96.8%	60		
救急関係	救 急 救 命 士	37.1%	23	その他	潜	水	士	4.8%	3	
	薬 剤 投 与 認 定	100.0%	23		C	力	一	ド	11.3%	7
	気 管 挿 管 実 習 認 定	87.0%	20		静 岡 県 防 災 士	22.6%	14			
	ビ デ オ 喉 頭 鏡 認 定	56.5%	13		衛 生 管 理 者	4.8%	3			
	処 置 拡 大 認 定	78.3%	18		酸 素 欠 乏 危 険 作 業 主 任 者	41.9%	26			
	救急隊員有資格者（救命士除く）	71.8%	28							
	応 急 手 当 指 導 員	95.2%	59							

※上記表は、消防吏員の資格取得状況です。なお、救急関係の水色部分は救急救命士の取得割合です。

<消防吏員の育成>

救急救命士の国家資格取得、救急隊員の養成、救助技術の習得、予防業務の研修などの研修へ職員を派遣し、知識及び技術の向上を図ります。また、安全管理などに関する各種資格を取得するための職員派遣を計画的に実施しています。

令和4年度 消防予算

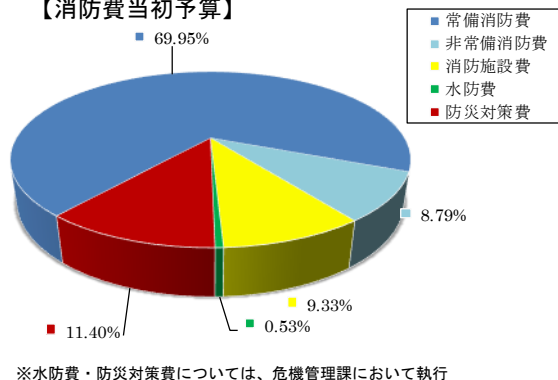
複雑多様化する火災・救急・災害活動では、迅速かつ的確な対応が求められるため、活動に必要な資機材の整備と維持管理、高規格救急自動車の更新及び耐震性貯水槽の整備などを行うとともに、地域防災の担い手である消防団の活動環境の整備と消防団員の確保を進めることにより、消防体制の充実及び消防力の強化を図ります。

1 市予算と消防予算

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度
一般会計当初予算額	19,105,000	20,536,000
消防費当初予算額	808,189	759,016
内		
常備消防費	501,180	530,932
非常備消防費	65,932	66,706
消防施設費	133,978	70,847
水防費	3,042	4,039
防災対策費	104,057	86,492

【消防費当初予算】



※水防費・防災対策費については、危機管理課において執行

2 令和4年度消防費の予算内訳

(単位：千円)

節	説 明	常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水防費	防災対策費
1	報 酬	2,083	18,558		15	24
2	給 料	225,321		973		
3	職 員 手 当 等	153,285	7,420		2,300	
4	共 済 費	69,747				
5	災 害 補 償 費		1			
7	報 償 費	3	10,403			1,284
8	旅 費	842	433	41		107
9	交 際 費		30			
10	需 用 費	14,068	6,787	687	606	19,792
11	役 務 費	2,357	1,111	23	110	1,882
12	委 託 料	12,566	281		40	14,543
13	使用料及び賃借料	2,860	111	48	52	3,302
14	工 事 請 負 費	14,648	997	21,175	839	
15	原 材 料 費				68	
17	備 品 購 入 費	6,940	3,759	41,177		2,572
18	負担金、補助及び交付金	25,806	16,455			18,634
21	補償、補填及び賠償金					1
26	公 課 費	406	360	33	9	
27	繰 出 金			6,690		24,351
小 計		530,932	66,706	70,847	4,039	86,492
合 計		759,016				

消防相互応援協定の締結状況

(令和4年4月1日 現在)

区分	消防相互応援協定名称	締結年月日	締 結 先
一 般	静岡県消防相互応援協定	S62年4月1日 (H28年3月10日)	静岡県下全市町・消防に関する事務を処理する一部事務組合
	静岡県防災ヘリコプター応援協定	H9年3月24日	静岡県下全市町(浜松市、静岡市を除く)・消防に関する事務を処理する一部事務組合
	菊川市・御前崎市間における消防相互応援に関する協定	H28年3月25日	御前崎市
	静岡市・菊川市の消防管轄隣接区域における相互応援に関する協定	H28年4月1日	静岡市
	牧之原電話局区内における消防相互応援に関する協定	S49年4月24日	吉田町・牧之原市広域施設組合、 牧之原市・御前崎市広域施設組合
	上朝比奈電話局区内における消防相互応援に関する協定	S51年5月18日	牧之原市・御前崎市広域施設組合
東 名 高 速	静岡県西部地区内高速道路における消防相互応援協定	H17年7月1日	浜松市、磐田市、掛川市、 袋井市森町広域行政組合
	東名高速道路内の相良牧之原、菊川インターチェンジ間における消防相互応援に関する協定	H28年4月1日	静岡市

その他の協定等の締結状況

(令和4年4月1日 現在)

区分	協定等名称	締結年月日	締 結 先
通 信 ・ 情 報	中東遠地域5消防本部消防通信指令事務協議会の設置に関する協議書	H23年12月27日	磐田市、掛川市、御前崎市、 袋井市森町広域行政組合
	移動体電話からの119番通報の取扱いに関する協定	H10年10月1日	県内消防本部
	緊急通報システムの運営等に関する協定	H12年3月24日	(株)日本緊急通報サービス
救 急	静岡県西部地区救急業務研究会の実施に関する協定	H18年4月1日	県西部地区消防本部
	救急救命士及び高規格救急車の運用に伴う申し合わせ	H10年3月5日	菊川市立総合病院
	救急業務に関する協定	H11年4月1日	御前崎市立総合病院
	新型コロナウイルス感染症患者等の移送に関する協定	R3年2月26日	静岡県
そ の 他	静岡空港における消火救難活動に関する協定	H31年3月19日	富士山静岡空港株式会社、静岡市、 御前崎市、志太広域事務組合、 掛川市

<広域応援体制の整備>

市町等の単独消防だけでは対応できない熱海市伊豆山土石流災害のような大規模災害等が発生した場合、各消防本部が互いに協力し合えるように相互応援協定の策定や締結を行い、大規模災害に備えています。

目 次

防火対象物・防火管理	-----	- 20 -
1 防火対象物及び立入実施状況	-----	- 20 -
2 防火管理者を必要とする対象物数	-----	- 21 -
3 面積別防火対象物数	-----	- 22 -
4 防火対象物の階別状況	-----	- 23 -
消防設備等及び建築指導	-----	- 24 -
1 消防用設備等・特殊消防用設備等用途別検査状況		- 24 -
2 用途・月別建築確認に係る消防同意件数		- 25 -
3 工事種別・月別建築確認に係る消防同意等受付件数		- 25 -
4 予防関係各種届出・申請件数	-----	- 26 -
危険物の規制・指導	-----	- 27 -
1 危険物施設状況	-----	- 27 -
2 危険物施設の立入検査実施状況	-----	- 27 -
3 危険物施設の許可・完成検査及び廃止届等の状況		- 28 -
4 令和3年度危険物設置許可等申請手数料の納付状況		- 28 -
広報・指導	-----	- 29 -
<火災予防運動（令和3年度中）>	-----	- 29 -
<広報活動>	-----	- 29 -
DVD紹介！ 予防課・危険物安全協会	-----	- 29 -
危険物安全協会	-----	- 30 -

防火対象物・防火管理

1 防火対象物及び立入実施状況

(令和4年3月31日 現在)

防火対象物			防火対象物数	所管区分		立入検査数
項		用 途		予防課	消防署	
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	2	2		
	ロ	公会堂又は集会場	62(2)	23(1)	39(1)	13
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等				
	ロ	遊技場又はダンスホール	4	4		3
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗				
	ニ	カラオケボックス等	2(1)	2(1)		
3	イ	待合、料理店等				
	ロ	飲食店	33(1)	7(1)	26	3
4		百貨店、マーケット、店舗	82(3)	41	41(3)	16
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	12(2)	12(2)		1
	ロ	寄宿舍、下宿又は共同住宅	540(6)	111(3)	429(3)	48
6	イ	病院、診療所又は助産所	25(1)	15	10(1)	5
	ロ	特別養護老人ホーム等	20	20		
	ハ	保育園、老人デイサービスセンター等	66(1)	50	16(1)	6
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	1	1		
7		小・中学校、高校、各種学校	57(1)	54(1)	3	
8		図書館、博物館、美術館等	3	3		
9	イ	蒸気・熱気公衆浴場				
	ロ	イ以外の公衆浴場				
10		車両の停車場	1	1		
11		神社、寺院、教会等	25	4	21	6
12	イ	工場又は作業場	573(18)	352(5)	221(13)	86
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ				
13	イ	自動車庫又は駐車場	17(1)	10(1)	7	3
	ロ	飛行機の格納庫				
14		倉庫	319(13)	220(5)	99(8)	80
15		前各号に該当しない事業場	164(8)	119(6)	45(2)	21
16	イ	特定複合用途防火対象物	73(3)	53(1)	20(2)	10
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	49(2)	23(1)	26(1)	4
16の1		地下街				
16の2		準地下街				
17		重要文化財等の建造物	7	7		
18		延長50m以上のアーケード				
19		市長の指定する山林				
20		総務省令で定める舟車				
合 計			2,137(63)	1,134(28)	1,003(35)	305

※ 菊川市消防本部火災予防査察等に関する規程（平成18年菊川市告示第145号）別表で定める第1種及び第2種査察対象物に該当する防火対象物を計上したものである。

※ () 内の数字は、第1種及び第2種査察対象物のうち、基準日現在における休止等の防火対象物数（内数）を示す。

2 防火管理者を必要とする対象物数

(令和4年3月31日 現在)

防火対象物		防火管理者を必要とする防火対象物数	防火対象物の種別	
項	用 途		甲種防火対象物	乙種防火対象物
1	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場	2	2	
	ロ 公会堂又は集会場	57(2)	21(1)	36(1)
2	イ キャバレー、ナイトクラブ等			
	ロ 遊技場又はダンスホール	4	4	
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗			
	ニ カラオケボックス等	2(1)	2(1)	
3	イ 待合、料理店等			
	ロ 飲食店	29(1)	5	24(1)
4	百貨店、マーケット、店舗	55	38	17
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所	9(2)	7	2(2)
	ロ 寄宿舍、下宿又は共同住宅	61	50	11
6	イ 病院、診療所又は助産所	14	12	2
	ロ 特別養護老人ホーム等	14	14	
	ハ 保育園、老人デイサービスセンター等	44(1)	35	9(1)
	ニ 幼稚園又は特別支援学校	1	1	
7	小・中学校、高校、各種学校	57(1)	55(1)	2
8	図書館、博物館、美術館等	3	3	
9	イ 蒸気・熱気公衆浴場			
	ロ イ以外の公衆浴場			
10	車両の停車場			
11	神社、寺院、教会等	19	13	6
12	イ 工場又は作業場	123	120	3
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ			
13	イ 自動車車庫又は駐車場	8	8	
	ロ 飛行機の格納庫			
14	倉庫	108	102	6
15	前各号に該当しない事業場	61(4)	57(4)	4
16	イ 特定複合用途防火対象物	42(1)	34(1)	8
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	7(1)	6(1)	1
16の1	地下街			
16の2	準地下街			
17	重要文化財等の建造物	6	6	
18	延長50m以上のアーケード			
19	市長の指定する山林			
20	総務省令で定める舟車			
合 計		726(14)	595(9)	131(5)

※ 菊川市消防本部火災予防査察等に関する規程（平成18年菊川市告示第145号）別表で定める第1種及び第2種査察対象物のうち防火管理者を必要とする対象物数を計上したものである。

※ () 内の数字は、第1種及び第2種査察対象物のうち、基準日現在における休止等の防火対象物数（内数）を示す。

3 面積別防火対象物数

(令和4年3月31日 現在)

防火対象物		防火対象物	500未満 (㎡)	500以上 1,000未満 (㎡)	1,000以上 3,000未満 (㎡)	3,000以上 5,000未満 (㎡)	5,000以上 10,000未満 (㎡)	10,000 以上 (㎡)
項	用 途							
1	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場	2			1		1	
	ロ 公会堂又は集会場	62(2)	52(1)	7	2(1)	1		
2	イ キャバレー、ナイトクラブ等							
	ロ 遊技場又はダンスホール	4		1	3			
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗							
	ニ カラオケボックス等	2(1)	2(1)					
3	イ 待合、料理店等							
	ロ 飲食店	33(1)	32(1)	1				
4	百貨店、マーケット、店舗	82(3)	50(3)	10	16	4	2	
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所	12(2)	6(2)	2	4			
	ロ 寄宿舍、下宿又は共同住宅	540(6)	435(6)	61	38	4	2	
6	イ 病院、診療所又は助産所	25(1)	18(1)	3	3			1
	ロ 特別養護老人ホーム等	20	9	3	7	1		
	ハ 保育園、老人デイサービスセンター等	66(1)	45(1)	12	9			
	ニ 幼稚園又は特別支援学校	1			1			
7	小・中学校、高校、各種学校	57(1)	16	12	17(1)	6	5	1
8	図書館、博物館、美術館等	3			3			
9	イ 蒸気・熱気公衆浴場							
	ロ イ以外の公衆浴場							
10	車両の停車場	1		1				
11	神社、寺院、教会等	25	11	14				
12	イ 工場又は作業場	573(18)	292(14)	124(3)	98	31	18	10(1)
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ							
13	イ 自動車車庫又は駐車場	17(1)	16(1)	1				
	ロ 飛行機の格納庫							
14	倉庫	319(13)	213(10)	60(2)	40(1)	3	2	1
15	前各号に該当しない事業場	164(8)	60(2)	61(2)	35(3)	6	2(1)	
16	イ 特定複合用途防火対象物	73(3)	46(3)	15	9		3	
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	49(2)	30(1)	13(1)	4	2		
16の1	地下街							
16の2	準地下街							
17	重要文化財等の建造物	7	7					
18	延長50m以上のアーケード							
19	市長の指定する山林							
20	総務省令で定める舟車							
合 計		2,137(63)	1,340(47)	401(8)	290(6)	58	35(1)	13(1)

※ 菊川市消防本部火災予防査察等に関する規程（平成18年菊川市告示第145号）別表で定める第1種及び第2種査察対象物に該当する防火対象物を計上したものである。

※ () 内の数字は、第1種及び第2種査察対象物のうち、基準日現在における休止等の防火対象物数（内数）を示す。

4 防火対象物の階別状況

(令和4年3月31日 現在)

防火対象物			階 数					
項	用 途	防火対象物	1 階	2 階	3 階	4 階	5 階	6 階以上
1	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場	2		1			1	
	ロ 公会堂又は集会場	62 (2)	48	13 (2)	1			
2	イ キャパレー、ナイトクラブ等							
	ロ 遊技場又はダンスホール	4	1	3				
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗							
	ニ カラオケボックス等	2 (1)	2 (1)					
3	イ 待合、料理店等							
	ロ 飲食店	33 (1)	21	11 (1)	1			
4	百貨店、マーケット、店舗	82 (3)	53 (2)	27 (1)	2			
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所	12 (2)	1	7 (2)	1	1		2
	ロ 寄宿舎、下宿又は共同住宅	540 (6)	4 (1)	417 (5)	62	35	18	4
6	イ 病院、診療所又は助産所	25 (1)	6 (1)	15	3	1		
	ロ 特別養護老人ホーム等	20	10	7	2	1		
	ハ 保育園、老人デイサービスセンター等	66 (1)	37 (1)	23	5	1		
	ニ 幼稚園又は特別支援学校	1	1					
7	小・中学校、高校、各種学校	57 (1)	24 (1)	12	12	6	2	1
8	図書館、博物館、美術館等	3	2		1			
9	イ 蒸気・熱気公衆浴場							
	ロ イ以外の公衆浴場							
10	車両の停車場	1		1				
11	神社、寺院、教会等	25	14	11				
12	イ 工場又は作業場	573 (18)	340 (10)	214 (7)	15 (1)	2	1	1
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ							
13	イ 自動車車庫又は駐車場	17 (1)	15 (1)	2				
	ロ 飛行機の格納庫							
14	倉庫	319 (13)	224 (5)	91 (8)	2	1	1	
15	前各号に該当しない事業場	164 (8)	56 (3)	83 (3)	21 (2)	2	2	
16	イ 特定複合用途防火対象物	73 (3)	14 (1)	35 (1)	20 (1)	4		
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	49 (2)	6	29 (2)	12	2		
16の1	地下街							
16の2	準地下街							
17	重要文化財等の建造物	7	4	3				
18	延長 50m以上のアーケード							
19	市長の指定する山林							
20	総務省令で定める舟車							
合 計		2, 137 (63)	883 (27)	1, 005 (32)	160 (4)	56	25	8

※ 菊川市消防本部火災予防査察等に関する規程（平成 18 年菊川市告示第 145 号）別表で定める第 1 種及び第 2 種査察対象物に該当する防火対象物を計上したものである。

※ () 内の数字は、第 1 種及び第 2 種査察対象物のうち、基準日現在における休止等の防火対象物数（内数）を示す。

消防設備等及び建築指導

1 消防用設備等・特殊消防用設備等用途別検査状況

(令和4年3月31日 現在)

用途別 消防用設備等 特殊消防用設備等	合 計	劇 場 等	遊 技 場 等	飲 食 店 等	店 舗 等	旅 館・ホ テル	共 同 住 宅 等	病 院・診 療 所	福 祉 施 設 等	幼 稚 園 等	学 校 等	車 両 の 停 車 場	工 場・作 業 場	倉 庫	事 務 所 等	複 合 用 途
消 火 器	7						1			1	1		2		1	1
屋 内 消 火 栓 設 備	7						1				4		1	1		
ス プ リ ン ク ラ ー 設 備																
水 噴 霧 消 火 設 備																
泡 消 火 設 備																
不 活 性 ガ ス 消 火 設 備																
ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備																
粉 末 消 火 設 備																
屋 外 消 火 栓 設 備	1												1			
動 力 消 防 ポ ンプ 設 備																
自 動 火 災 報 知 設 備	22				1		2			1	2	1	8	2	3	2
ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 器																
漏 電 火 災 警 報 器																
消防機関へ通報する火災報知設備	4								3	1						
非 常 警 報 設 備																
非 常 放 送 設 備	2				1						1					
避 難 器 具	1						1									
誘 導 灯	3									1					1	1
誘 導 標 識	2												2			
消 防 用 水																
排 煙 設 備																
連 結 送 水 管																
非 常 コ ン セ ント 設 備																
総 合 操 作 盤																
パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備																
パ ッ ケ ー ジ 型 自 動 消 火 設 備	1								1							
合 計	50				2		5		4	4	8	1	14	3	5	4

2 用途・月別建築確認に係る消防同意件数

(令和4年3月31日 現在)

用途別	月別 合 計	受 付 件 数											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
劇場、映画館、観覧場													
公会堂又は集会場	2		1										1
遊技場又はダンスホール	1												1
待合、料理店、飲食店	2	1									1		
マーケット、店舗又は展示場	1											1	
旅館、ホテル、宿泊所													
寄宿所、下宿又は共同住宅													
病院、診療所又は助産所													
特別養護老人ホーム等	1									1			
保育園、老人デイサービスセンター等													
幼稚園、養護学校													
小・中学校、高校、各種学校	1							1					
神社、寺院、教会													
工場又は作業所	3		1						2				
自動車車庫又は駐車場													
倉庫	5				1		1				1	2	
全各号に該当しない事業場	6						1		2	1			2
特定複合用途防火対象物	2			1						1			
非特定複合用途防火対象物													
専用住宅等	28	2	3	3	2	4	3		1	1	3	1	5
合 計	52	3	5	4	3	4	5	1	5	4	5	4	9

3 工事種別・月別建築確認に係る消防同意等受付件数

(令和4年3月31日 現在)

種 別		月別 合 計	受 付 件 数											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
確 認 申 請	新 築	40	3	3	4	2	3	4		5	3	5	2	6
	増 築													
	用 途 変 更	1											1	
	修 繕													
	移 転													
	計 画 変 更	1							1					
許 可 申 請	43条第2項	10		2		1	1	1			1		1	3
	51条													
計 画 通 知		2												2
合 計		54	3	5	4	3	4	5	1	5	4	5	4	11

4 予防関係各種届出・申請件数

(令和4年3月31日 現在)

種 別	月 別 合 計	受 付 件 数											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
工事整備対象設備等着工届出	44	3	2	1	1	4	8	5	2	12	2	3	1
消防用設備等設置届出	71	7	3	5	3	7	5	8	7	8	12	2	4
消防用設備等点検結果報告書	620	59	44	67	40	45	89	60	42	37	21	60	56
防火対象物点検結果報告書	34		1			4	14	1	3	3	1	4	3
防災管理点検報告書	1							1					
防火対象物使用開始届出	26	2		1		3	2	3	1	2		2	10
防火管理者選任・解任届出	86	12	4	12	3	5	20	5	2	2		6	15
防災管理者選任・解任届出													
火元責任者選任・解任届出	10	7	1										2
消防計画（作成・変更）届出	104	18	6	14	7	7	19	7	4	1	1	6	14
防災管理消防計画（作成・変更）届出	1			1									
自衛消防訓練実施通知書	276	39	18	27	15	14	20	30	39	33	12	10	19
自衛消防組織設置（変更）届出	1			1									
変電設備設置届出	14	1		1	7	1	1				1	2	
発電設備設置届出	4					1		1			1		1
蓄電池設備設置届出	4			3							1		
炉設置届出	7	4				1		1		1			
厨房設備設置届出													
ボイラー設置届出	7							1	6				
温風暖房機設置届出													
給湯湯沸設備設置届出													
乾燥設備設置届出	14		7	2								5	
ヒートポンプ冷暖房機設置届出													
放電加工機設置届出	2		1		1								
ネオン管灯設備設置届出													
少量危険物貯蔵取扱届出	31		1	2	1	4	4	1	2	2	1	7	6
少量危険物貯蔵取扱廃止届出	15			1			1	5	3	1		3	1
指定可燃物貯蔵取扱届出	14		1				1		8				4
指定可燃物貯蔵取扱廃止届出	8			2		2				1			3
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱届出	27	3	3	2	3	5	1	1		1	1	5	2
圧縮アセチレンガス等廃止届出	16	1		2	2	5			4			2	
火災と紛らわしい行為届出	193	7	14	13	9	11	32	22	31	14	25	7	8
煙火打上（仕掛）届出	2							1				1	
露店等の開設の届出	9	2			2			3	1	1			
道路工事届出	233	24	27	18	18	19	26	26	14	25	12	11	13
消防用設備等特例申請													
防火対象物点検報告特例認定申請	1												1
火薬類消費許可申請	2					1			1				
禁止行為解除申請	10	2	1	1	1	1	1	1	2				
表示マーク交付（更新）申請													
防火管理修了証再交付申請	5	2		1	1				1				
危険物許可証再交付申請	13						2			1	2	3	5
合 計	1,905	193	134	177	114	140	246	183	173	145	93	139	168

危険物の規制・指導

1 危険物施設状況

(令和4年3月31日 現在)

月 別 種 別		合 計	製 造 所	貯蔵所							取扱所			
				屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	給油		販 売	一 般
											営 業 所	自 家 用		
施 設 数		258	7	57	43	21	19	1	15	4	15	11		65
種 別	第 1 類													
	第 2 類	3		3										
	第 3 類	2		2										
	第 4 類	241	6	47	43	21	19	1	15	4	15	11		59
	第 5 類													
	第 6 類													
	混 在	12	1	5										6
倍 数 別	5 倍以下	113		25	16	9	7	1	12	1		2		40
	5 倍を超え 10倍以下	53		10	12	12	3			2		2		12
	10倍を超え 50倍以下	51	4	11	10		4		3	1		6		12
	50倍を超え 100倍以下	15	3	6	1		1				2	1		1
	100倍を超え 150倍以下	7		3			1				3			
	150倍を超え 200倍以下	5		1			1				3			
	200倍を超え 1,000倍以下	14		1	4		2				7			

2 危険物施設の立入検査実施状況

(令和4年3月31日 現在)

月 別 種 別		合 計	製 造 所	貯蔵所							取扱所			
				屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	給油		販 売	一 般
											営 業 所	自 家 用		
立 入 検 査 実 施 施 設 数		178	9	32	35	7	14	2	14	3	15	9		38
立 入 検 査 実 施 回 数		178	9	32	35	7	14	2	14	3	15	9		38

3 危険物施設の許可・完成検査及び廃止届等の状況

(令和4年3月31日 現在)

種 別 \ 月 別		合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			
				屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	給油		販 売	一 般
											営 業 所	自 家 用		
許 可	設 置	3		1	1				1					
	変 更	37	6	4	2						2			23
完 成	設 置	5		3	1				1					
	変 更	33	5	4	2	1					2			19
廃 止 届 出 等		12			3	2	2	1						4

4 令和3年度危険物設置許可等申請手数料の納付状況

(令和4年3月31日 現在)

項 目 \ 月 別	合 計	設置・変更 許可申請 手数料	設置・変更 完成検査 申請手数料	仮使用等 承認申請 手数料	タンク検査 手数料	煙火消費 許可手数料	危険物施設 許可等 再交付手数料
4 月	141,200	85,000	39,000	16,200			
5 月	45,750	36,000	9,750				
6 月	118,200	91,500	10,000	16,200			
7 月	80,900	19,500	55,500	5,400			
8 月	266,050	150,500	75,250	32,400		7,900	
9 月	31,550	10,000	9,750	10,800			1,000
10 月	61,300	45,500	5,000	10,800			
11 月	64,700	45,500		10,800		7,900	
12 月	189,150	133,500	22,750	32,400			500
1 月	197,700	104,000	76,500	16,200			1,000
2 月	133,600	78,000	32,500	21,600			1,500
3 月	164,950	91,000	55,250	16,200			2,500
合 計	1,495,050	890,000	391,250	189,000		15,800	6,500

広報・指導

＜火災予防運動（令和３年度中）＞

危険物安全週間・・・・・・ ６月６日～６月１２日
 秋の火災予防運動・・・・・・ １１月９日～１１月１５日
 文化財防火デー・・・・・・ １月２６日
 春の火災予防運動・・・・・・ ３月１日～３月７日

＜広報活動＞

火災発生の原因の大部分は、火気を取り扱う時のちょっとした不注意によるものです。一人ひとりが火災予防を心がけることによって、火災のほとんどを防ぐことができます。消防本部では、春と秋の火災予防運動実施期間を中心に、防火知識の普及と防火意識の高揚を図り、広報誌や同報無線、SNS等でも火災予防を呼び掛けています。また、幼年消防クラブ活動をはじめ、子どもの成長段階にあわせた防火思想の育成に取り組んでいます。

DVD紹介！・・・・DVDの貸し出しをしますので、お申し込みください。

◎菊川市消防本部予防課所有

	題 名	再 生 時 間	対 象 等				
			子供	防火	危険物	地震等	救急
D V D	火遊びは火事のもと・ケンタとニャンタの火の用心	13分	◎				
	地震に備えて今、やるべきこと	23分				◎	
	火災事例から学ぶ「店舗火災編」	44分		◎			
	カルガモ親子の火の用心	13分	◎				
	マジカルプータの火あそびはあぶないよ	15分	◎				
	のぶながくんのみんなで約束 火の用心	10分	◎				
	やめよう火あそび火事のもと～妖怪ヒザマに気をつけよう～	12分	◎				

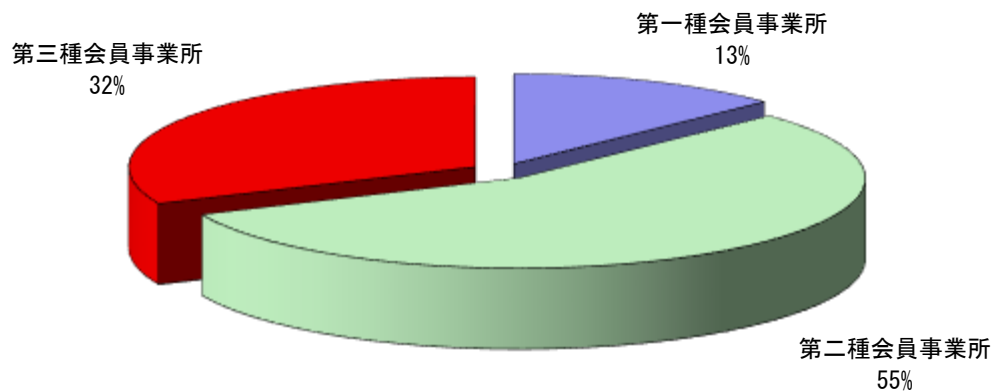
◎菊川市危険物安全協会所有

	題 名	再 生 時 間	対 象 等				
			子供	防火	危険物	地震等	救急
D V D	第４類危険物の火災事故を防げ	30分			◎		
	危険物施設におけるヒヤリハット	37分			◎		
	危険物施設の事故事例に学ぶ保安対策	37分			◎		
	その腐食を見逃すな！	30分			◎		
	給油取扱所における事故防止対策	34分			◎		
	映像でわかる地下貯蔵タンクの概要	31分			◎		
	危険物取扱者の地震発生時の対応	38分				◎	
	事故事例から学ぶ 危険物の保安対策	31分			◎		
	映像でわかる移動タンク貯蔵所	31分			◎		
	震災時における危険物の仮貯蔵・仮取扱い	30分				◎	
	危険物施設におけるヒューマンエラー	37分			◎		
	危険物の性状に応じた火災予防と消火方法	38分			◎		
	危険物事故とリスク	30分			◎		
	事故事例から学ぶ単独荷卸し作業の安全対策	41分			◎		
	Know Why 危険物施設における保安教育の充実	33分			◎		
	備えあれば憂いなし～震災に備えて危険物施設にできること～	29分				◎	
	ぬらすな×キケン！ 禁水性物質の性状に応じた火災予防と消火方法	26分			◎		
	危険物施設の異常を感知せよ 事故事例から学ぶ日常点検のポイント	84分			◎		
	安心・安全なガソリンスタンド業務のために	35分			◎		
	危険物施設の事故事例及び風水害対策	86分			◎		

【 危 険 物 安 全 協 会 】

- 1 名 称 菊川市危険物安全協会
- 2 事務局所在地 静岡県菊川市東横地385番地
菊川市消防本部 予防課内
- 3 設 立 年 月 日 平成17年6月7日
- 4 会 員

給油取扱所	関係事業所（第一種会員）	13 会員
工場、一般	関係事業所（第二種会員）	56 会員
茶 工 場	関係事業所（第三種会員）	32 会員



5 主 な 事 業

- (1) 危険物取扱者試験事前講習会の開催(年3回実施)
- (2) 危険物安全週間を中心に会員及び住民に危険物の安全管理を啓蒙
- (3) 危険物保安管理者の資質向上を図るため、優良事業所の視察を実施
- (4) 危険物保安管理講習会等の開催
- (5) 危険物防災訓練の実施
- (6) 危険物の取り扱いに関する資料の配布

目	次
令和3年中の火災統計	----- - 32 -
1 火災の概要	----- - 32 -
2 過去10年間の火災推移	----- - 32 -
3 月別火災発生状況	----- - 33 -
4 原因別火災発生状況	----- - 34 -
過去10年間の火災件数と損害額	----- - 35 -
月別の火災件数と損害額	----- - 35 -
原因別の火災件数と損害額	----- - 36 -
曜日別の火災件数と損害額	----- - 36 -
時間別の火災件数と損害額	----- - 37 -
湿度別の火災件数と損害額	----- - 37 -
風速別の火災件数と損害額	----- - 38 -
分団別の火災件数と損害額	----- - 38 -
火災覚知別状況	----- - 39 -
初期消火の状況	----- - 39 -
初期消火実施率	----- - 39 -
初期消火実施結果割合	----- - 39 -
火災出動人員等	----- - 40 -
過去10年間の死傷者発生状況	----- - 40 -
全国統一標語	----- - 41 -

令和３年中の火災統計

１ 火災の概要

令和３年中における出火件数は、17件で前年と同数になりました。種別ごとにみると建物火災が７件、車両火災が２件、その他の火災が８件発生しました。

前年と比較するとその他の火災が３件増加し、建物火災は２件、車両火災は１件の減少となっています。

損害額については、10,154千円で前年に比べ3,121千円の増加となりました。

また、建物火災の焼損面積は144㎡で、火災による人的被害は負傷者１名が発生しています。

２ 過去10年間の火災推移

	合 計	火災件数				焼損面積		損 害 額 (千円)	死傷者		り災	
		建 物	林 野	車 両	そ の 他	建 物 (㎡)	林 野 (a)		死 者	負 傷 者	世 帯 数	人 員
平成24年	13	3	2	3	5	2	5	769	0	2	3	6
平成25年	22	8	0	1	13	795	0	30,741	2	1	6	17
平成26年	15	2	0	2	11	99	0	40,235	0	0	0	0
平成27年	13	5	0	2	6	423	0	15,575	1	1	2	4
平成28年	15	7	1	1	6	511	38	10,907	0	2	7	20
平成29年	15	4	0	0	11	162	0	3,328	0	0	1	3
平成30年	24	8	0	4	12	684	0	24,005	1	1	3	9
令和元年	16	7	0	2	7	135	0	5,103	0	1	6	23
令和２年	17	9	0	3	5	278	0	7,063	2	1	6	20
令和３年	17	7	0	2	8	144	0	10,154	0	1	5	8

注）小数点以下四捨五入

3 月別火災発生状況

(令和3年中)

	火災件数	火災種別（件）				焼損面積（建物㎡）				り災世帯			り災人員	死傷者	
		建物	林野	車両	その他	全焼	半焼	部分焼	ぼや	全損	半損	小損		死者	負傷者
1 月	2	1			1							1	3		
2 月	2	1			1			2				1	1		
3 月	1	1													
4 月	3	1			2										
5 月	1	1				54									
6 月															
7 月	1	1													
8 月	1			1											
9 月	2				2										1
10 月															
11 月	2	1			1	72		16		2		1	4		
12 月	2			1	1										
合 計	17	7		2	8	126		18		2		3	8		1

(令和3年中)

	焼 損 面 積			損 害 額 （千円）						
	建物（㎡）		林 野 （a）	建 物			林 野	車 両	その他	合 計
	面 積	表面積		合 計	建 物	収容物				
1 月				1	1					1
2 月		2		35	13	22				35
3 月				5		5				5
4 月				24		24			2	26
5 月	54			139		139				139
6 月										
7 月										
8 月								400		400
9 月									6	6
10 月										
11 月	72	16		6,179	5,389	790			3,357	9,536
12 月									6	6
合 計	126	18		6,383	5,403	980		400	3,371	10,154

4 原因別火災発生状況

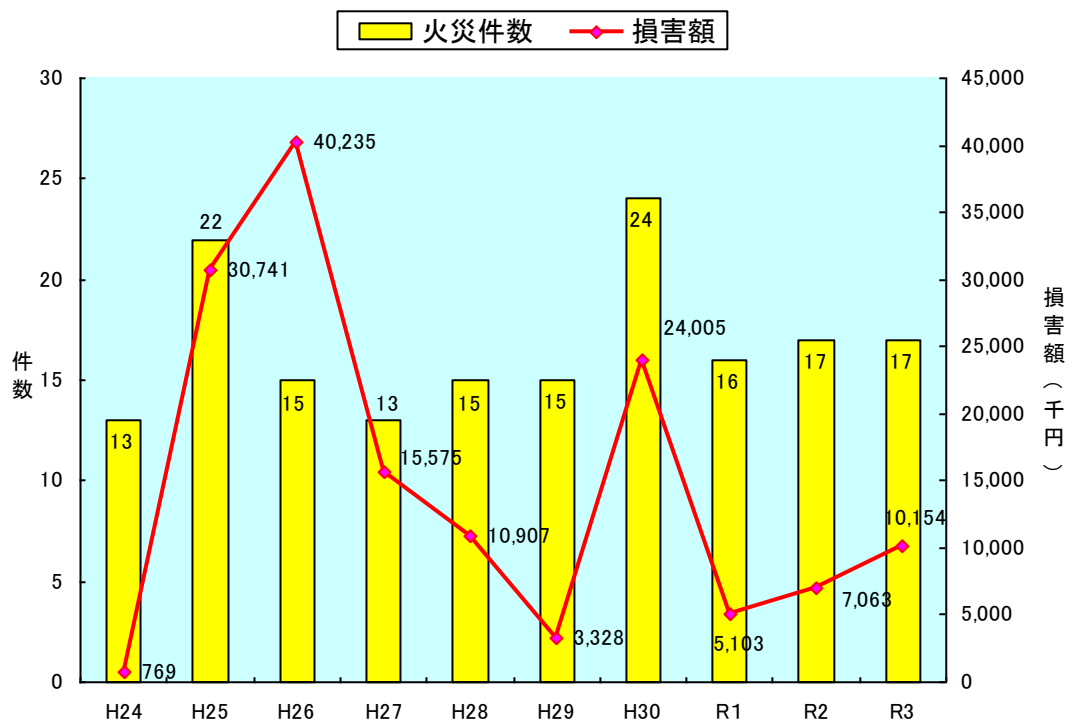
(令和3年中)

	火災件数	火災種別(件)				焼損面積(建物㎡)				り災世帯			り災人員	死傷者	
		建物	林野	車両	その他	全焼	半焼	部分焼	ぼや	全損	半損	小損		死者	負傷者
たばこ	1	1						2				1	1		
たき火・草焼き	4				4										1
コンロ															
火遊び															
焼却炉															
ストーブ															
電気機器等配線	3	3				54									
排気管	1			1											
放火・放火の疑い															
上記以外又は不明	8	3		1	4	72		16		2		2	7		
合 計	17	7		2	8	126		18		2		3	8		1

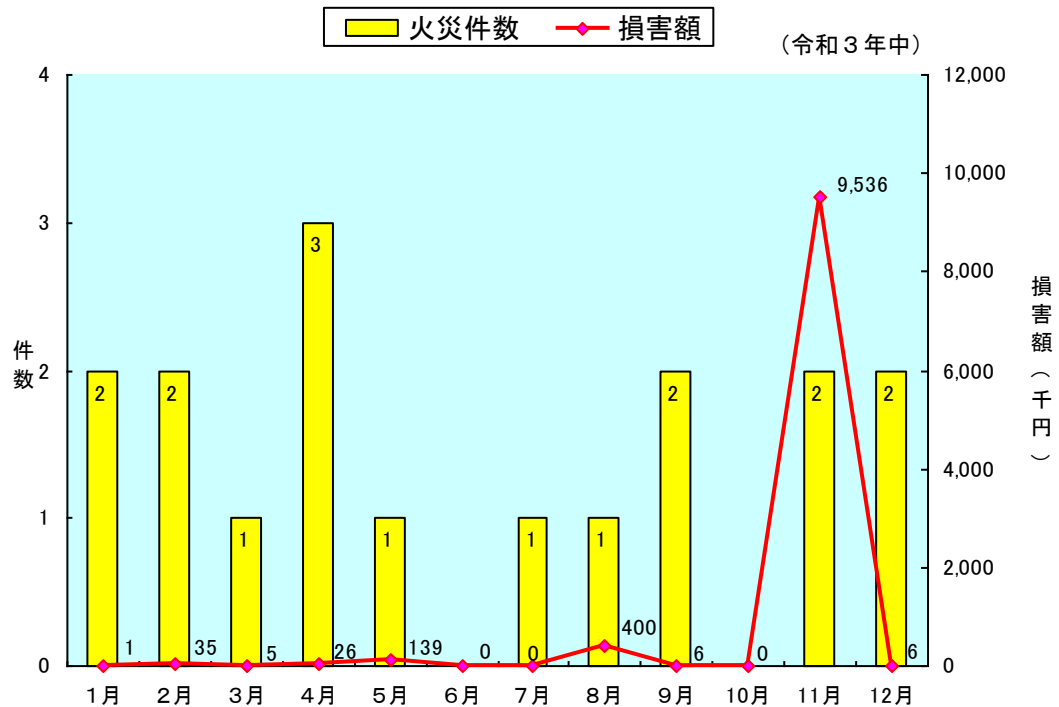
(令和3年中)

	焼 損 面 積			損 害 額 (千円)						
	建物(㎡)		林 野 (a)	建 物			林 野	車 両	その他	合 計
	面 積	表面積		合 計	建 物	収容物				
たばこ		2		35	13	22				35
たき火・草焼き									2	2
コンロ										
火遊び										
焼却炉										
ストーブ										
電気機器等配線	54			144		144				144
排気管								400		400
放火・放火の疑い										
上記以外又は不明	72	16		6,204	5,390	814			3,369	9,573
合 計	126	18		6,383	5,403	980		400	3,371	10,154

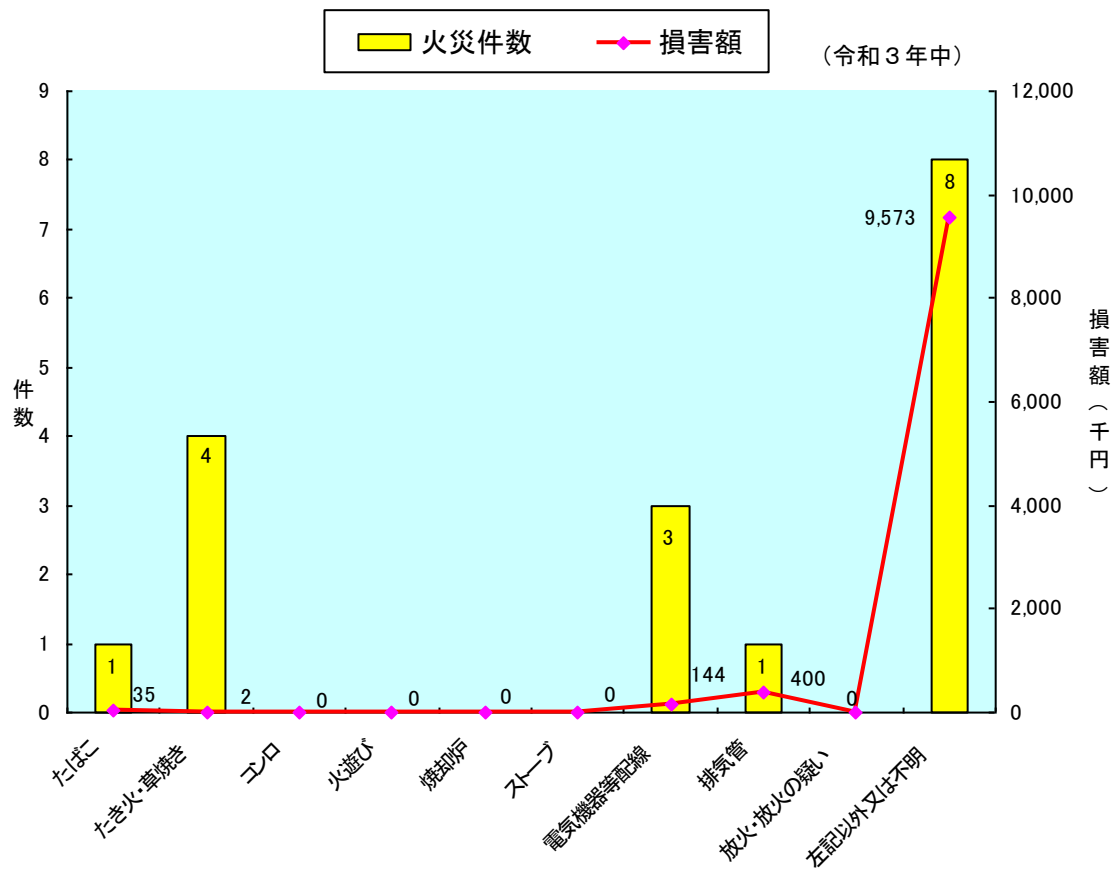
過去 10 年間の火災件数と損害額



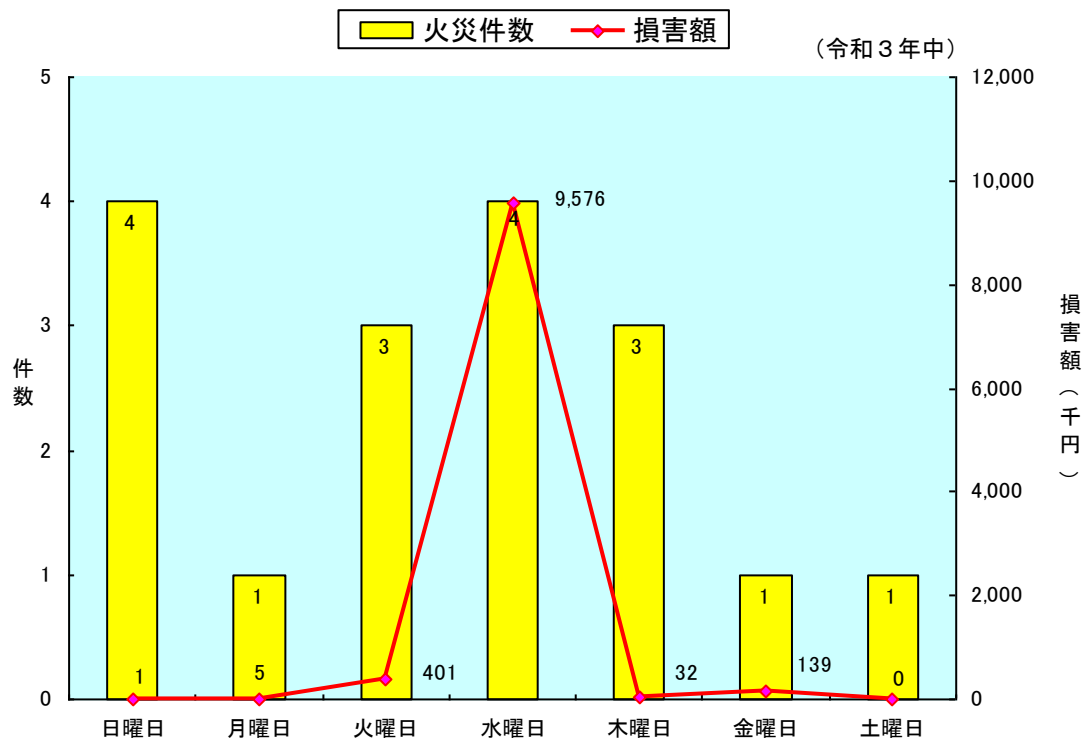
月別の火災件数と損害額



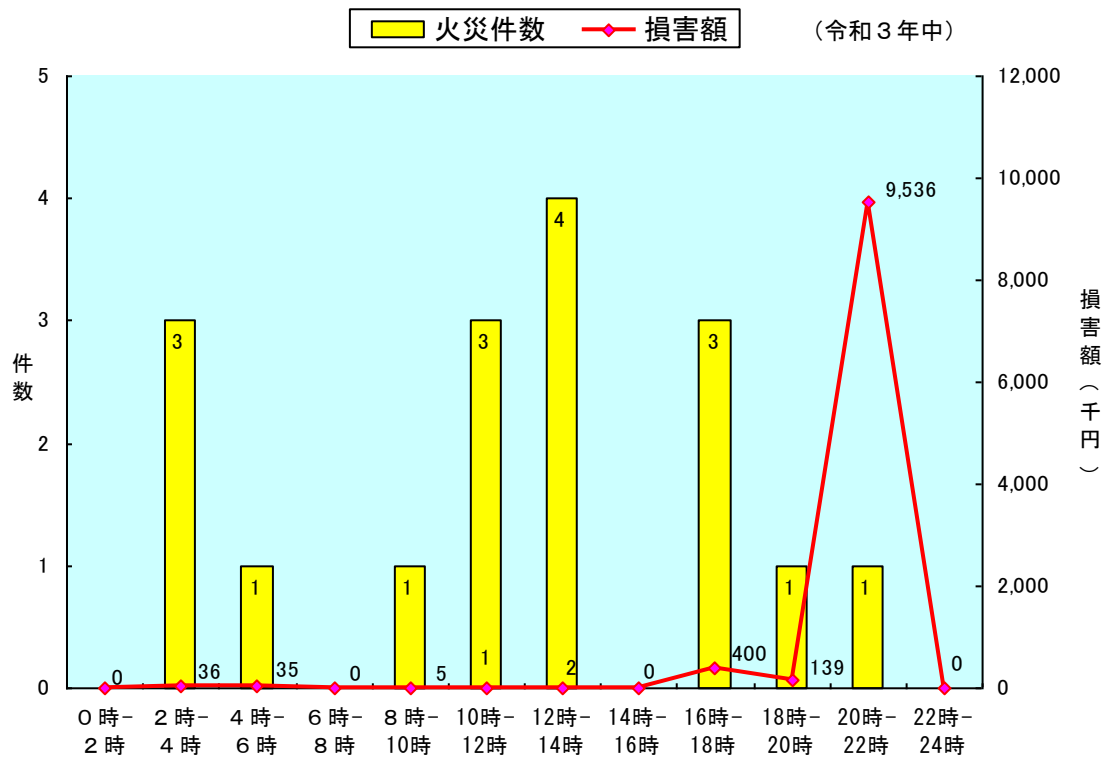
原因別の火災件数と損害額



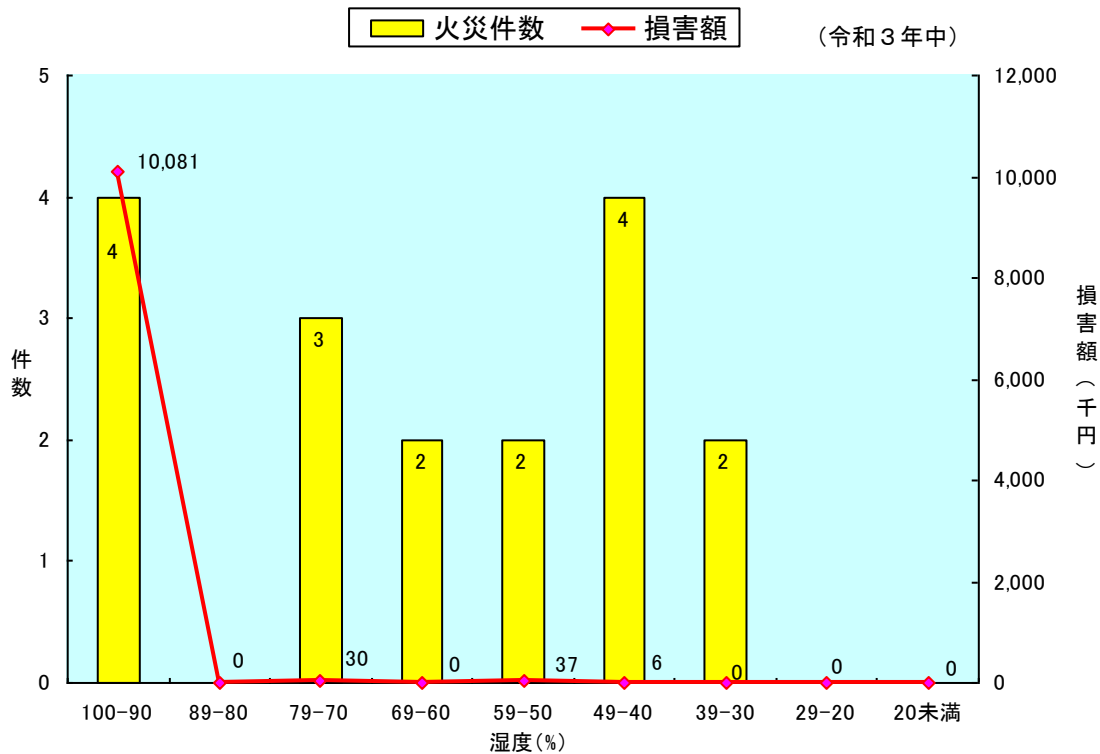
曜日別の火災件数と損害額



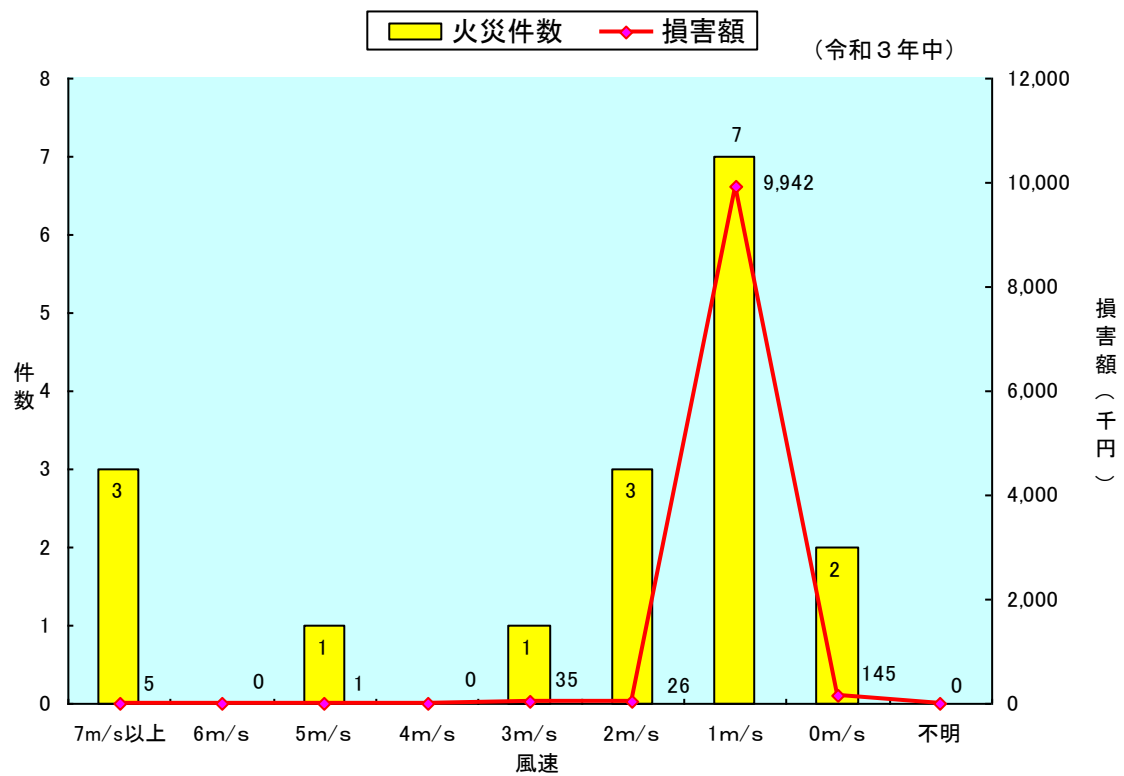
時間別の火災件数と損害額



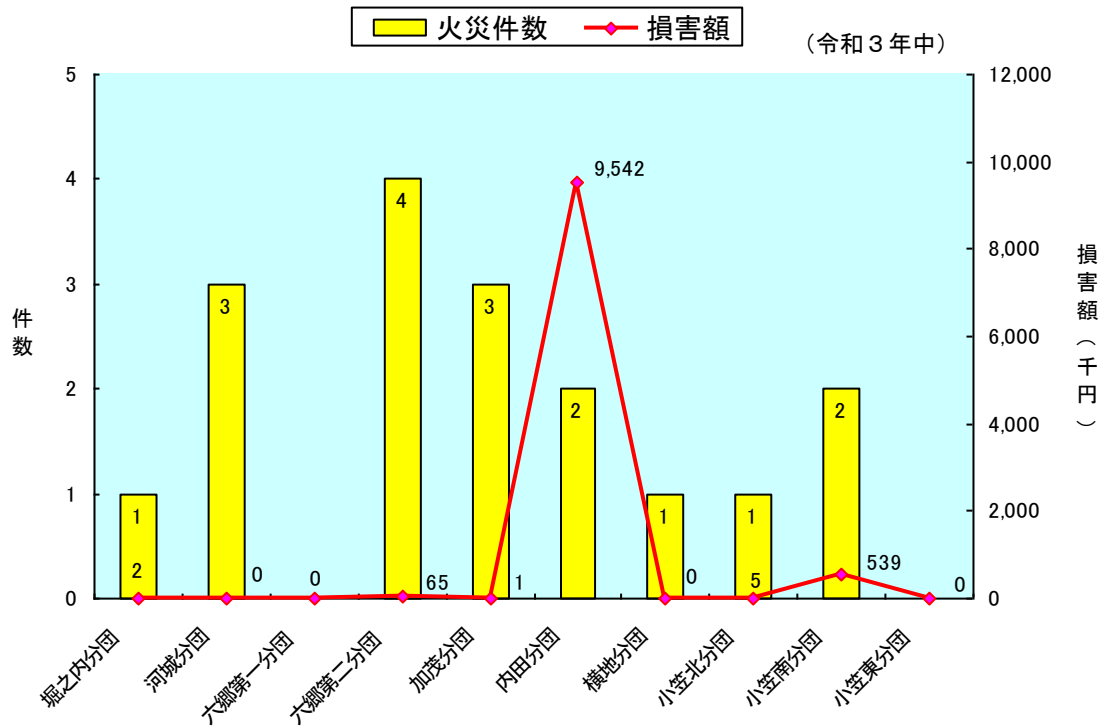
湿度別の火災件数と損害額



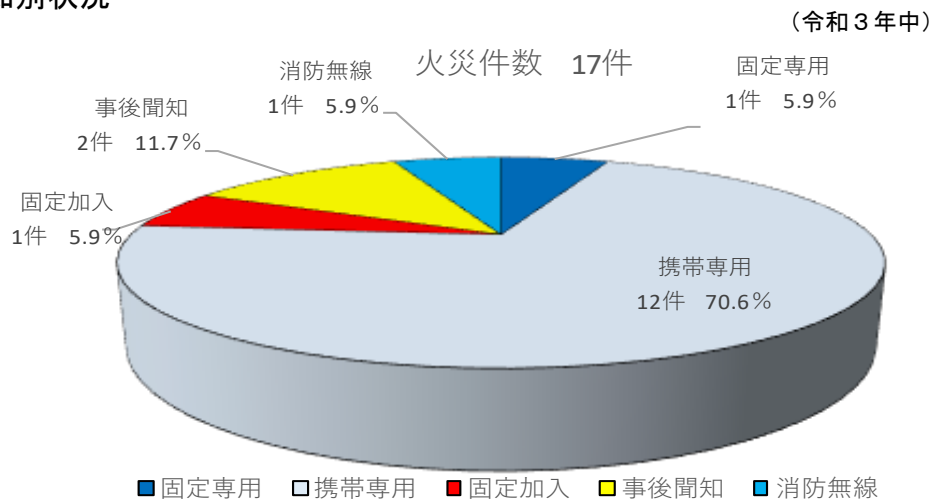
風速別の火災件数と損害額



分団別の火災件数と損害額

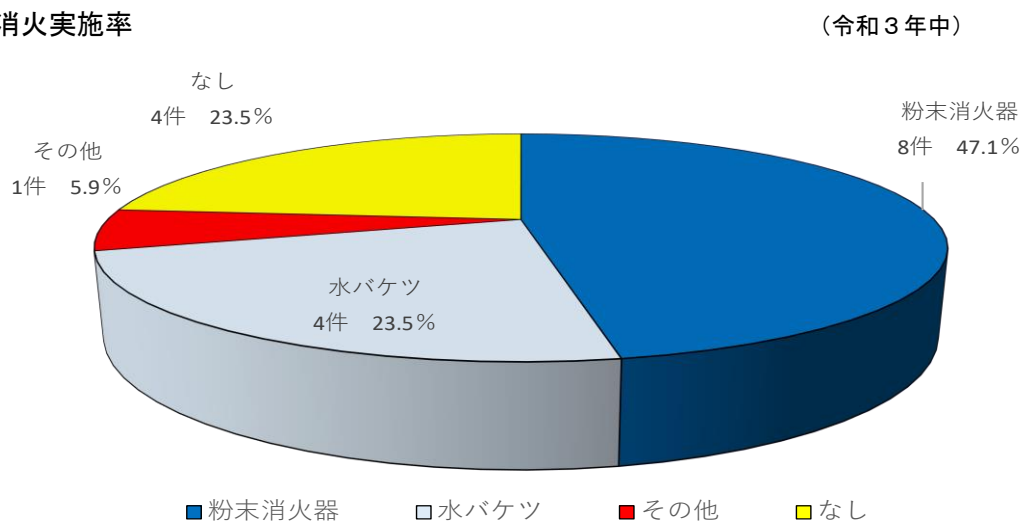


火災覚知別状況

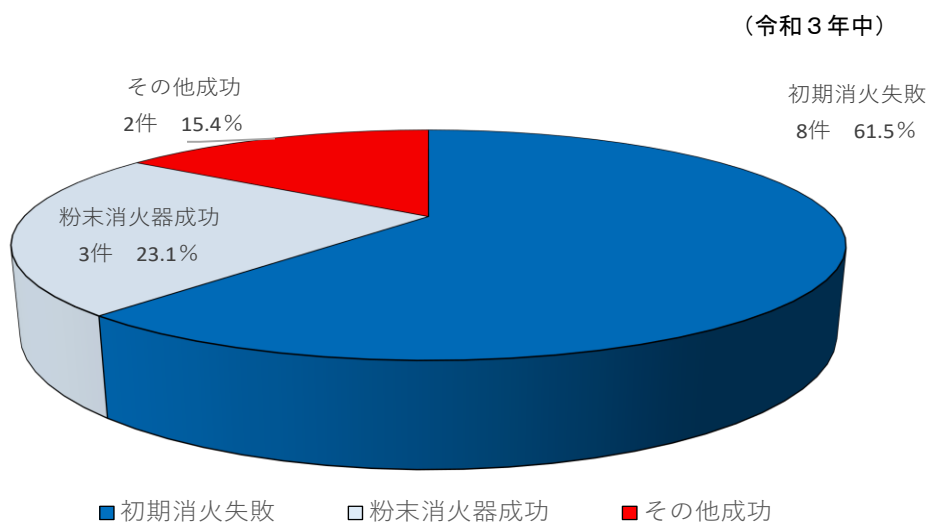


初期消火の状況

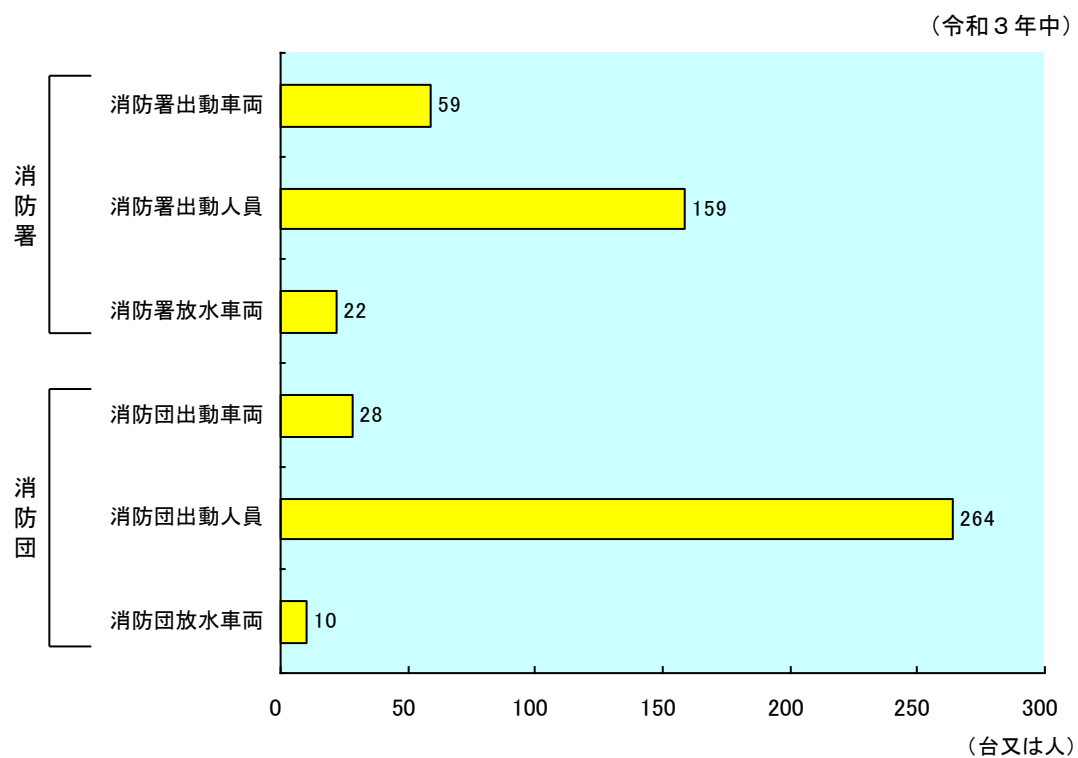
初期消火実施率



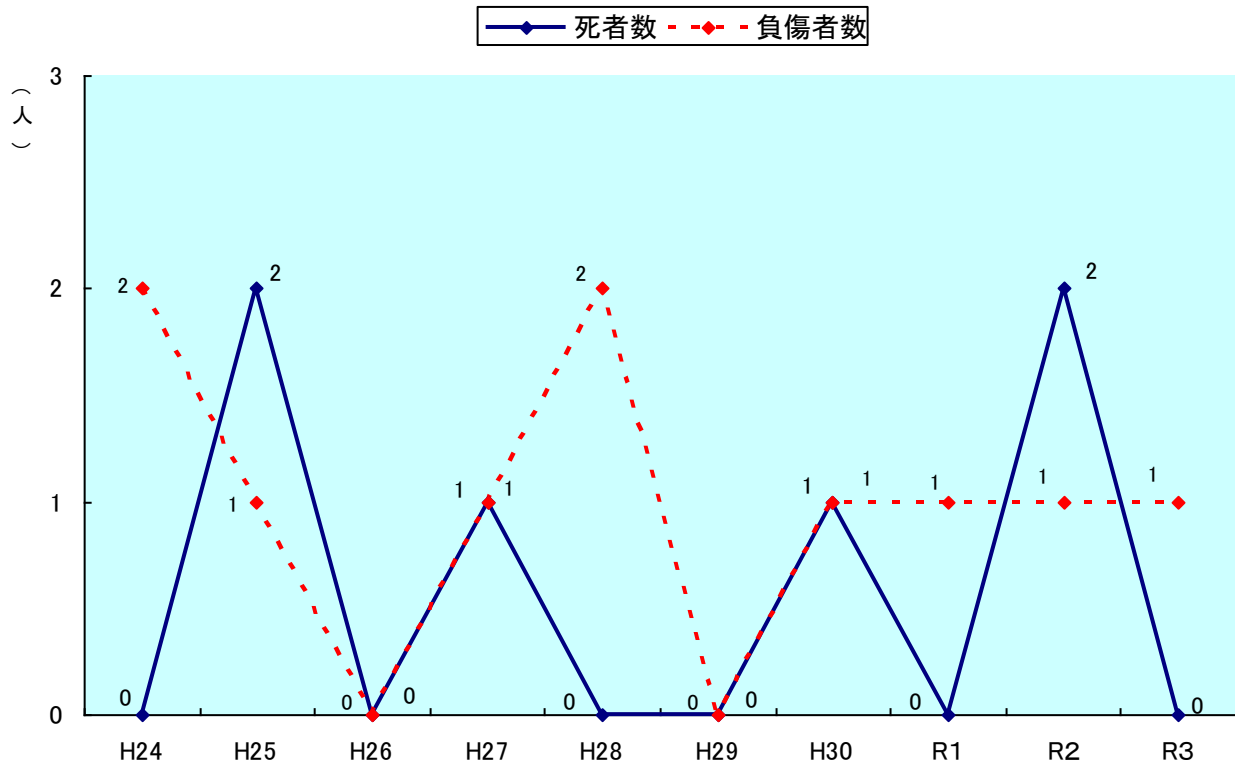
初期消火実施結果割合 (初期消火実施件数 13件)



火災出動人員等



過去10年間の死傷者発生状況



全国統一標語

第1回	(昭和41年度)	火の始末 人にたのむな まかせるな
第2回	(昭和42年度)	さあねよう アッそのまえに 火の点検
第3回	(昭和43年度)	あなたは 火事の恐ろしさを 知らない
第4回	(昭和44年度)	今捨てた タバコの温度が 700度
第5回	(昭和45年度)	あぶない! 消し忘れ 切り忘れ
第6回	(昭和46年度)	火を使う人ならできる 火の始末
第7回	(昭和47年度)	慣れた火に 新たな注意
第8回	(昭和48年度)	隣にも 声かけあって よい防火
第9回	(昭和49年度)	生活の 一部にしよう 火の点検
第10回	(昭和50年度)	幸せを 明日につなぐ 火の始末
第11回	(昭和51年度)	火災は人災 防ぐはあなた!
第12回	(昭和52年度)	使う火を 消すまで離すな 目と心
第13回	(昭和53年度)	それぞれの 持場で生かせ 火の用心
第14回	(昭和54年度)	これくらいと 思う油断が 火が狙う
第15回	(昭和55年度)	あなたです 火事を出すのも 防ぐのも
第16回	(昭和56年度)	毎日が 防火デーです ぼくの家
第17回	(昭和57年度)	火の用心 心で用心 目で用心
第18回	(昭和58年度)	点検は 防火のはじまり しめくくり
第19回	(昭和59年度)	“あとで”より “いま”が大切 火の始末
第20回	(昭和60年度)	怖いのは「消したつもり」と「消えたはず」
第21回	(昭和61年度)	防火の大役 あなたが主役
第22回	(昭和62年度)	消えたかな! 気になるあの火 もう一度
第23回	(昭和63年度)	その火 その時 すぐ始末!
第24回	(平成元年度)	おとなりに あげる安心 火の始末
第25回	(平成2年度)	まず消そう 火の鈍感 無関心
第26回	(平成3年度)	毎日が 火の元警戒 発令中
第27回	(平成4年度)	点検を 重ねて築く 火災ゼロ
第28回	(平成5年度)	防火の輪 つなげて広げて なくす火事
第29回	(平成6年度)	安心の 暮らしの中心 火の用心
第30回	(平成7年度)	災害に 備えて日頃の 火の用心
第31回	(平成8年度)	便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ
第32回	(平成9年度)	つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火
第33回	(平成10年度)	気をつけて はじめはすべて 小さな火
第34回	(平成11年度)	あぶないよ ひとりぼっちにした その火
第35回	(平成12年度)	火をつけた あなたの責任 最後まで
第36回	(平成13年度)	たしかめて。火を消してから 次のこと
第37回	(平成14年度)	消す心 置いてください ひのそばに
第38回	(平成15年度)	その油断 火から炎へ 災いへ
第39回	(平成16年度)	火を消した? いつも心に きいてみて
第40回	(平成17年度)	あなたです ひのある暮らしの 見はり役
第41回	(平成18年度)	消さないで あなたの心の 注意の火
第42回	(平成19年度)	火は見てる あなたが離れる その時を
第43回	(平成20年度)	火のしまつ 君がしなくて 誰がする
第44回	(平成21年度)	消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子

第45回	(平成22年度)	「消したかな」 あなたを守る 合言葉
第46回	(平成23年度)	消したはず 決めつけないで もう一度
第47回	(平成24年度)	消すまでは 出ない行かない 離れない
第48回	(平成25年度)	消すまでは 心の警報 ONのまま
第49回	(平成26年度)	もういいかい 火を消すまでは まあだだよ
第50回	(平成27年度)	無防備な 心に火災が かくれんぼ
第51回	(平成28年度)	消しましょう その火その時 その場所で
第52回	(平成29年度)	火の用心 ことばを形に 習慣に
第53回	(平成30年度)	わすれてない? サイフにスマホに 火の確認
第54回	(平成31年度)	ひとつずつ いいね! で確認 火の用心
第55回	(令和2年度)	その火事を 防ぐあなたに 金メダル
第56回	(令和3年度)	おうち時間 家族で点検 火の始末
第57回	(令和4年度)	お出かけは マスク戸締り 火の用心

救急・救助関係

目	次
令和3年中の救急状況	----- - 44 -
救急出動状況	----- - 45 -
1 地区別出動状況	----- - 45 -
2 月別救急出動状況	----- - 46 -
3 曜日別救急出動状況	----- - 47 -
4 覚知別救急出動状況	----- - 47 -
5 時間帯別救急出動状況	----- - 48 -
6 発生場所別搬送状況	----- - 48 -
7 現場到着所要時間別出動状況	----- - 49 -
8 収容所要時間別搬送状況	----- - 49 -
9 年齢別搬送状況	----- - 50 -
10 程度別搬送状況	----- - 51 -
11 救急隊員が行なった救急処置状況	----- - 51 -
12 病院別搬送状況	----- - 52 -
13 診療科目別搬送状況	----- - 52 -
東名高速道路の救急状況	----- - 53 -
救急講習会実施状況	----- - 53 -
救助出動状況	----- - 54 -
1 事故種別出動人員・活動人員	----- - 54 -
2 事故種別出動車両等台数	----- - 55 -
3 発生場所別出動件数	----- - 55 -
4 発生場所別救助人員	----- - 56 -

令和３年中の救急状況

令和３年中の救急活動状況は、出動件数が1,431件、搬送人員は1,346人で、昨年より出動件数10件、搬送人員12人の増加となりました。

出動件数は、１日平均約４件で管内人口１万人当たり約300件となり、救急車の利用状況では、約35人に１人が利用したことになります。

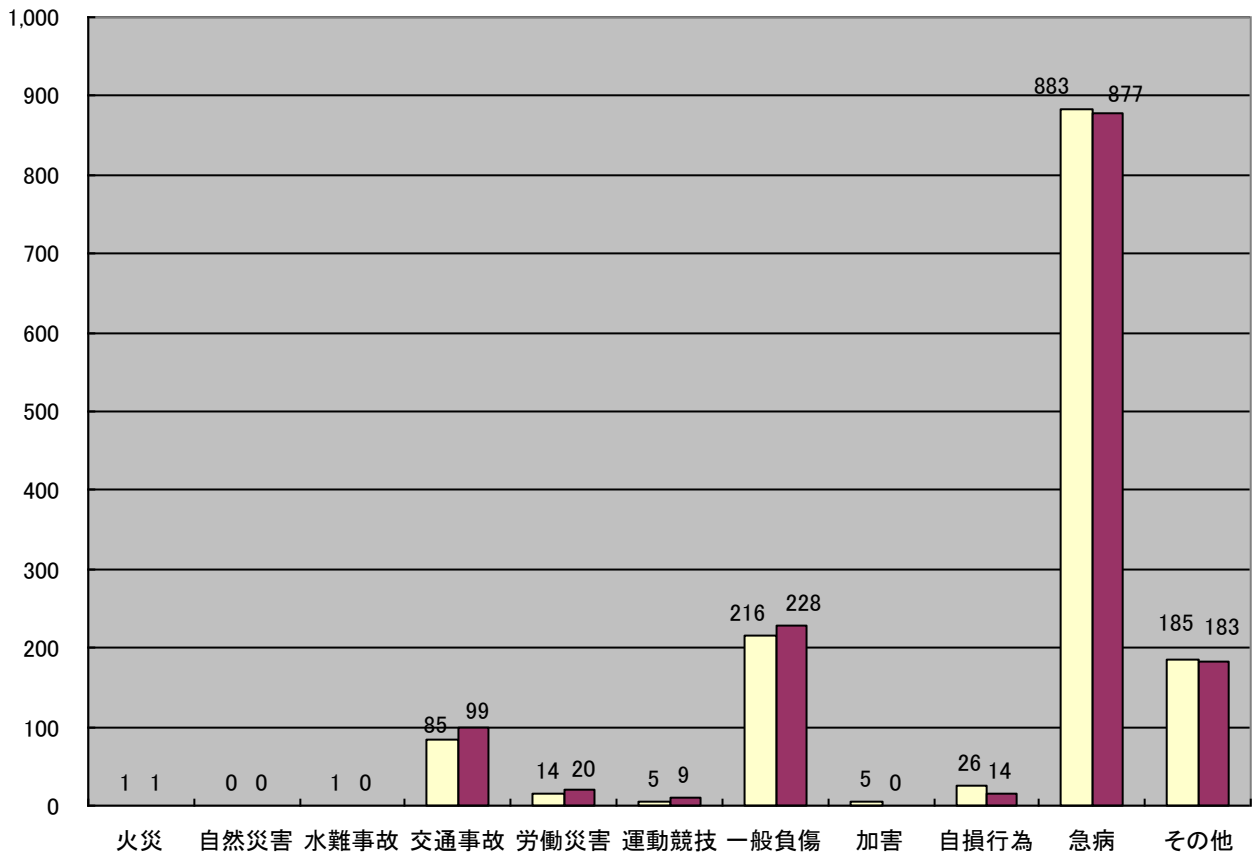
事故種別ごとに前年比較すると、増加したのは、交通事故14件、労働災害６件、運動競技４件、一般負傷12件、減少したのは、水難事故１件、加害５件、自損行為12件、急病６件、その他（転院搬送等）２件となっています。

種別 年	火 災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	合 計
令和３年出動件数	1			99	20	9	228		14	877	183	1,431
令和３年搬送人員	1			100	20	8	219		10	810	178	1,346
令和２年出動件数	1		1	85	14	5	216	5	26	883	185	1,421
令和２年搬送人員				76	14	4	210	4	20	825	181	1,334

(件)

□ 令和２年出動件数

■ 令和３年出動件数



救急出動状況

1 地区別出動状況

(令和3年中)(件)

地区 \ 種別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
西 方				8	1	4	13		2	46		74
町 部				3			16			51	1	71
加 茂				14	4		27		2	107	30	184
内 田				7		1	8		1	54		71
横 地				10		1	8			57	121	197
六 郷	1			19	7		59		1	186	3	276
河 城				4	2		22		3	92		123
平 川				12	1		25		1	99	5	143
嶺 田				5	1	1	8		1	38		54
小 笠 南				3	1		18		2	66		90
小 笠 東				12	3	2	24		1	80	23	145
東名高速道路				2								2
管 轄 外										1		1
合 計	1			99	20	9	228		14	877	183	1,431

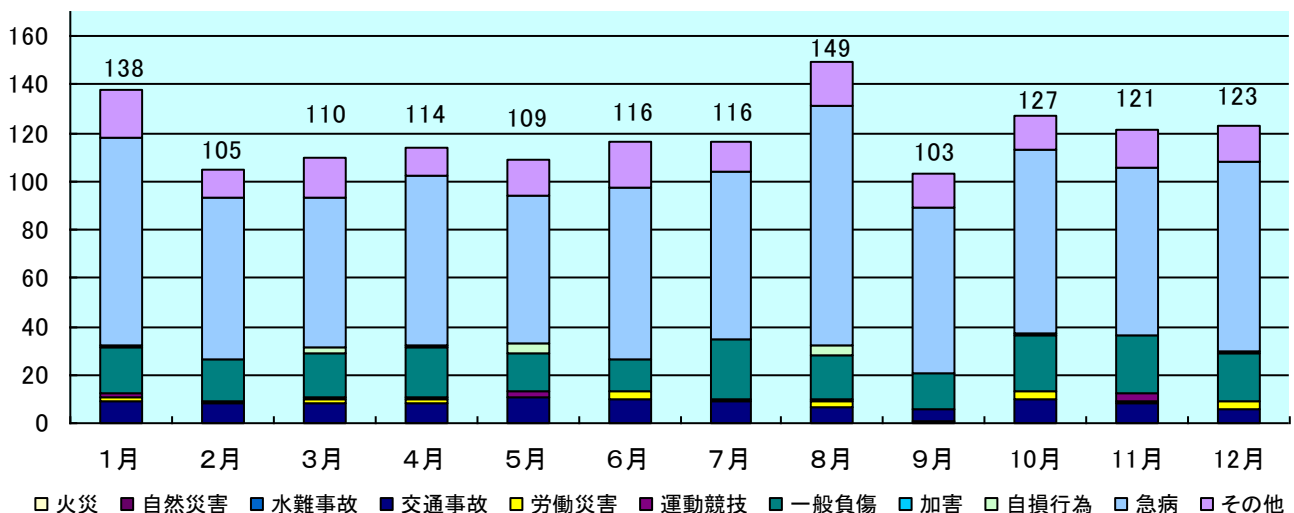
2 月別救急出動状況

(令和3年中)(件)

月別	種別	合	火	自然	水	交通	労働	運動	一般	加	自	急	そ	う
	計	災	災害	難	事故	事故	災害	競技	負傷	害	損行為	病	他	ち不搬送
1月	出動件数	138				9	2	1	19		1	86	20	7
	搬送件数	131				9	2	1	19		1	79	20	
2月	出動件数	105				8	1		17			67	12	9
	搬送件数	96				8	1		16			61	10	
3月	出動件数	110				8	2	1	18		2	62	17	7
	搬送件数	103				8	2	1	16		2	57	17	
4月	出動件数	114				8	2	1	20		1	70	12	4
	搬送件数	110				8	2	1	18		1	68	12	
5月	出動件数	109				11		2	16		4	61	15	7
	搬送件数	102				10		1	16		3	57	15	
6月	出動件数	116				10	3		13			71	19	4
	搬送件数	112				9	3		13			68	19	
7月	出動件数	116				9	1		25			69	12	5
	搬送件数	111				9	1		25			64	12	
8月	出動件数	149				7	2	1	18		4	99	18	13
	搬送件数	136				7	2	1	18		2	89	17	
9月	出動件数	103	1			5			15			68	14	8
	搬送件数	95	1			4			14			62	14	
10月	出動件数	127				10	3		23		1	76	14	15
	搬送件数	112				10	3		19			67	13	
11月	出動件数	121				8	1	3	24			70	15	7
	搬送件数	114				8	1	3	24			63	15	
12月	出動件数	123				6	3		20		1	78	15	7
	搬送件数	116				4	3		20		1	74	14	
合計	出動件数	1,431	1			99	20	9	228		14	877	183	93
	搬送件数	1,338	1			94	20	8	218		10	809	178	

※搬送件数の合計には、「不搬送」は含んでおりません。

月別救急出動推移



3 曜日別救急出動状況

(令和3年中)(件)

種別 曜日	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
月 曜 日				19	3	1	31		4	142	39	239
火 曜 日				12	4		30		2	115	35	198
水 曜 日	1			14	2	1	26		2	129	14	189
木 曜 日				14	6	1	30		3	116	32	202
金 曜 日				12	4	1	37		1	109	24	188
土 曜 日				19	1	2	46		1	127	22	218
日 曜 日				9		3	28		1	139	17	197
合 計	1			99	20	9	228		14	877	183	1,431

4 覚知別救急出動状況

(令和3年中)(件)

種別 覚知区分	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
専 用 電 話	1			86	20	9	227		13	865	65	1,286
加 入 電 話				1						3	2	6
警 察 電 話				5			1		1	6		13
駆 け 付 け				1						3		4
自 己 覚 知												
東 名 管 理 局												
消 防 救 急 無 線				6								6
病 院 専 用											116	116
そ の 他												
合 計	1			99	20	9	228		14	877	183	1,431

5 時間帯別救急出動状況

(令和3年中)(件)

種別 時間帯	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
0時～2時				1	2		10			42	6	61
2時～4時				1			6			39	2	48
4時～6時				1			8			49	4	62
6時～8時				10	3		18		1	93	4	129
8時～10時				20	1	1	26		3	100	26	177
10時～12時	1			11	5	2	32		4	96	31	182
12時～14時				5	3	1	32			91	34	166
14時～16時				12	4	3	32		1	86	27	165
16時～18時				21	1		23		1	98	21	165
18時～20時				15	1	1	16		2	78	17	130
20時～22時				1		1	20		2	66	5	95
22時～24時				1			5			39	6	51
合 計	1			99	20	9	228		14	877	183	1,431

6 発生場所別搬送状況

(令和3年中)(人)

発生場所 種別	住 宅	公衆出入場所	仕事場	道 路	その他	合 計
急 病	666	102	28	12	2	810
交通事故	3	1	2	92	2	100
一般負傷	153	38	2	19	7	219
そ の 他	8	187	18	4	0	217
合 計	830	328	50	127	11	1,346

7 現場到着所要時間別出動状況

(令和3年中)(件)

所要時間 種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	合 計	平均 所要時間
急 病	4	49	602	222		877	8.4 分
交通事故	1	7	66	25		99	8.6 分
一般負傷		13	155	60		228	8.6 分
そ の 他	5	32	174	16		227	6.4 分
合 計	10	101	997	323		1,431	8.1 分
割合 (%)	0.7	7.0	69.7	22.6		100	

8 収容所要時間別搬送状況

(令和3年中)(人)

所要時間 種別	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上	合 計	平均 所要時間
急 病		7	187	584	32	810	36.5 分
交通事故		1	14	81	4	100	39.6 分
一般負傷			61	155	3	219	35.3 分
そ の 他			33	168	16	217	40.6 分
合 計		8	295	988	55	1,346	37.2 分
割合 (%)		0.6	21.9	73.4	4.1	100	

9 年齢別搬送状況

(令和3年中)(人)

種別 年齢・性別		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
0才～4才	男性				2			8			22	1	33
	女性				1			4			13	4	22
5才～9才	男性				3		1	5			5		14
	女性							2			3		5
10才～19才	男性				10	1	5	2			9	2	29
	女性				5			4		1	19	1	30
20才～29才	男性				7	3		3			7	1	21
	女性				6			2		2	23	11	44
30才～39才	男性				6	2	1	5		1	26	4	45
	女性				2	1		1		2	23	17	46
40才～49才	男性				11	1		4		2	25	5	48
	女性				8	2		3			17	4	34
50才～59才	男性				4	4		7			35	13	63
	女性				5	1		5			31	5	47
60才～69才	男性				6	4		9			50	9	78
	女性				3		1	7		1	35	9	56
70才～79才	男性	1			9	1		32			84	26	153
	女性				4			15		1	72	9	101
80才以上	男性				5			45			143	22	215
	女性				3			56			168	35	262
合 計	男性	1			63	16	7	120		3	406	83	699
	女性				37	4	1	99		7	404	95	647
総 合 計		1			100	20	8	219		10	810	178	1,346

10 程度別搬送状況

(令和3年中)(人)

傷病程度 \ 種別		火 災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	合 計	割 合 (%)
死 亡	男性				1			2		1	9		13	1.0
	女性										10		10	0.7
重 傷	男性				3			4			29	2	38	2.8
	女性							2		2	20		24	1.8
中等症	男性				12	4	2	39		2	181	81	321	23.9
	女性				7		1	44		4	175	95	326	24.2
軽 症	男性	1			47	12	5	75			187		327	24.3
	女性				30	4		53		1	199		287	21.3
合 計	男性	1			63	16	7	120		3	406	83	699	52.0
	女性				37	4	1	99		7	404	95	647	48.0
	計	1			100	20	8	219		10	810	178	1,346	100

11 救急隊員が行なった救急処置状況

(令和3年中)(回)

救急処置 \ 種別	急 病	交 通	一 般	その他	合 計
心 肺 蘇 生	48	2	5	2	57
気道確保(特定行為除く)	48	2	3	2	55
人 工 呼 吸	6		1	1	8
酸 素 投 与	156	10	13	44	223
止 血	3	8	33	6	50
固 定	4	59	38	14	115
被 服	3	8	32	11	54
保 温	349	30	74	97	550
聴診器による聴診	330	54	52	50	486
血 圧 測 定	767	96	214	212	1,289
血中酸素飽和度測定	765	95	214	214	1,288
心 電 図 測 定	767	81	202	205	1,255
在 宅 療 法 継 続	6				6
食道閉鎖式エアウェイ	17	1	2	1	21
気 管 挿 管	1		1		2
静 脈 路 確 保	22	1	3	1	27
薬 剤 投 与	9	1	2	1	13
除 細 動	2				2
そ の 他 の 処 置	1	2		3	6
合 計	3,304	450	889	864	5,507

12 病院別搬送状況

(令和3年中)(人)

種別 医療機関	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
菊 川 市 立 総 合 病 院				83	16	7	196		5	634	29	970
中東遠総合医療センター	1			16	4	1	21		2	147	76	268
市立御前崎総合病院				1			1			8	2	12
総合病院聖隷浜松病院										3	8	11
浜松医科大学医学部附属病院										2	13	15
磐 田 市 立 総 合 病 院										4	15	19
総合病院聖隷三方原病院												
島田市立総合医療センター										2	22	24
そ の 他 の 医 療 機 関									2	10	12	24
ドクターヘリ搬送							1		1		1	3
合 計	1			100	20	8	219		10	810	178	1,346

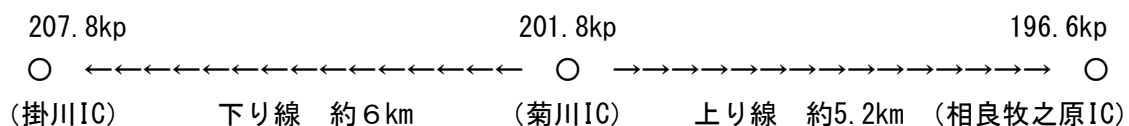
※令和3年5月 市立島田市民病院から島田市立総合医療センターへ名称変更

13 診療科目別搬送状況

(令和3年中)(人)

種別 診療科目	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
内 科							11		1	484	43	539
消 化 器 科										59	16	75
循 環 器 科										49	20	69
小 児 科				3			15		1	51	7	77
外 科	1			49	11		93		3	5	9	171
整 形 外 科				47	9	8	95		1	34	5	199
脳 外 科				1			4			66	39	110
そ の 他							1		4	62	39	106
合 計	1			100	20	8	219		10	810	178	1,346

東名高速道路の救急状況



(令和3年中)

種別 月別	上り線		菊川IC		下り線		合 計			不搬送
	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	取扱	搬送人員	
1 月										
2 月	1	1					1		1	
3 月										
4 月										
5 月										
6 月	1	1					1		1	
7 月										
8 月										
9 月										
10 月										
11 月										
12 月										
合 計	2	2					2		2	
令和3年					2		2			2

救急講習会実施状況

(令和3年中) (人)

種別 月別	普通救命講習				一般救命講習	
	実施回数	管内居住者	管外居住者	受講者合計	実施回数	受講人数
1 月	1	15		15	1	10
2 月	1	1		1	7	293
3 月	2	16		16		
4 月	2	4	4	8		
5 月	3	11	19	30	5	106
6 月	3	23	12	35	8	137
7 月	5	21	13	34	3	43
8 月	2	10	17	27	2	54
9 月	3	21	18	39		
10 月	1	15		15	3	32
11 月	2	22	7	29	4	70
12 月	4	15	17	32	1	27
合 計	29	174	107	281	34	772

救助出動状況

令和３年中における救助出動状況は、出動件数が22件、活動件数が16件、救助人員が16人でした。
前年と比較すると、出動件数9件、活動件数12件、救助人員12人の増加となっています。

救助出動状況

(令和３年中)

	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
	建 物	建 物 以 外									
出動件数(件)			15			3				4	22
活動件数(件)			10			3				3	16
救助人員(人)			10			3				3	16

※令和２年 救助出動状況

出動件数(件)			9	1			3				13
活動件数(件)			2				2				4
救助人員(人)			2				2				4

１ 事故種別出動人員・活動人員

(令和３年中)

		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
出 動 人 員	救助隊員			59			12				17	88
	消防隊員											
	救急隊員			54			9				9	72
	消防団員											
	合 計			113			21				26	160
活 動 人 員	救助隊員			39			12				12	63
	消防隊員											
	救急隊員											
	消防団員											
	合 計			39			12				12	63

2 事故種別出動車両等台数

(令和3年中)

		火 災		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
出 動 車 両 等	救助工作車			14			3				4	21
	ポンプ車 タンク車			2							1	3
	化学車						1					1
	指揮車 司令車											
	救急自動車			18			3				3	24
	その他			1								1
	消防団車両											
合 計				35			7				8	50

3 発生場所別出動件数

(令和3年中)

		火 災		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
屋 内	住 居										1	1
	その他											
屋 外	高速自動車 国 道											
	その他の 道 路			12								12
	内水面			1							1	2
	外水面											
	山 岳											
	その他の 屋 外			1			3				2	6
地 下												
そ の 他				1								1
合 計				15			3				4	22

4 発生場所別救助人員

(令和3年中)

		火 災		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
屋 内	住 居											
	その他											
屋 外	高速自動車 国 道											
	その他の 道 路			7								7
	内水面			1							1	2
	外水面											
	山 岳											
	その他の 屋 外			1			3				2	6
地 下												
そ の 他				1								1
合 計				10			3				3	16

目 次

通信関係	-----	- 58 -
1 無線機器詳細	-----	- 58 -
2 菊川市消防本部通信系統図	-----	- 59 -
消防用車両配置状況	-----	- 60 -
機械器具の保有状況	-----	- 61 -
1 主要消防機具器材の状況	-----	- 61 -
2 主要原子力資機材の状況	-----	- 61 -
3 救助隊資機材の状況	-----	- 62 -
4 高度救命処置用資機材等保有状況	-----	- 62 -
水利・気象統計	-----	- 63 -
消防水利現有数	-----	- 63 -
月別気温状況	-----	- 64 -
月別平均風速・降雨量状況	-----	- 64 -
月別湿度状況	-----	- 65 -
過去5年間の気象状況	-----	- 65 -

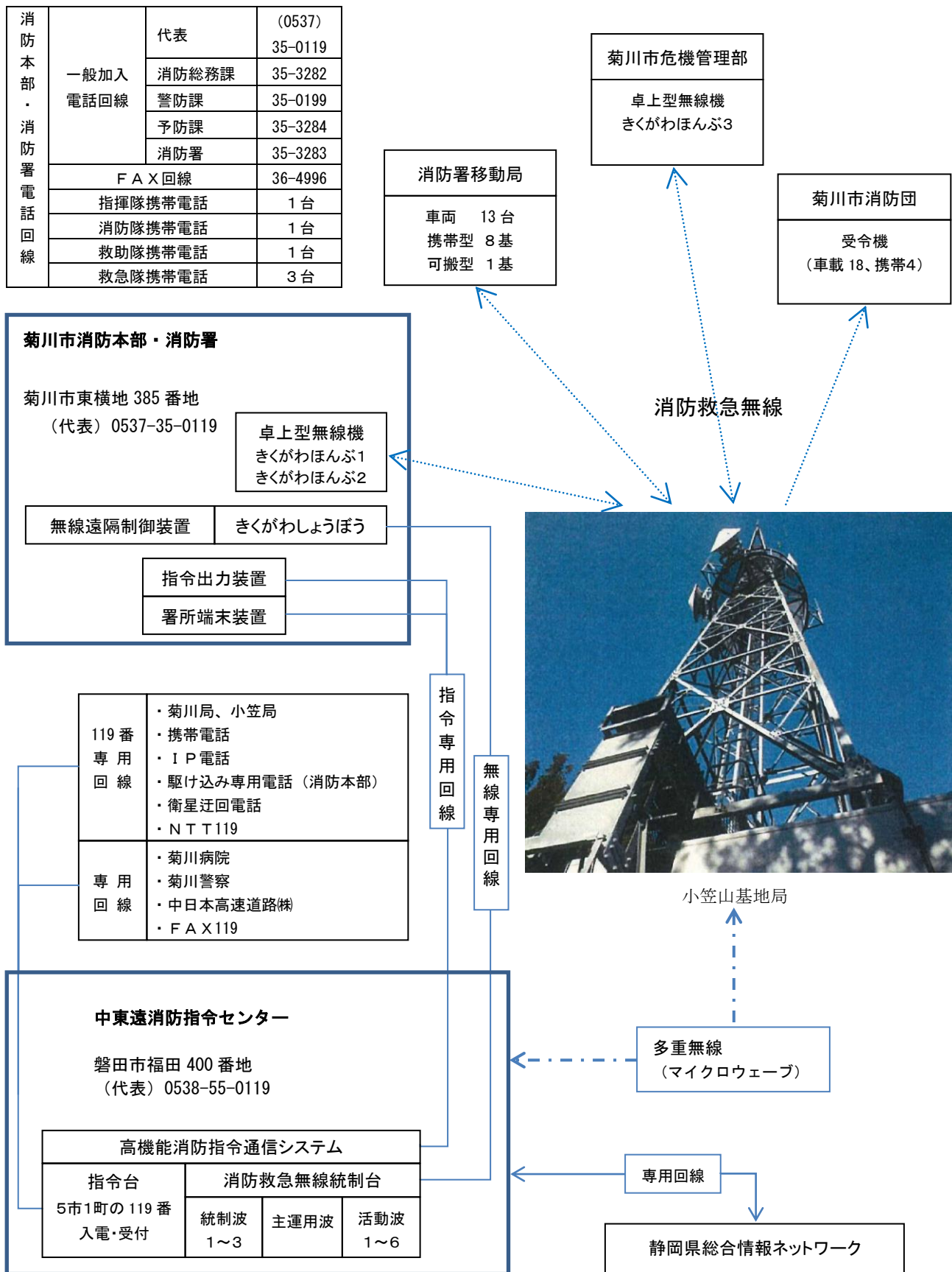
通信関係

1 無線機器詳細

(令和4年4月1日 現在)

所 属	局別・車別	呼称名称	空中線出力	製造業者
本 部	基地局（遠隔制御装置）	きくがわしょうぼう	5W	N E C
	司令車	きくがわ5 1	10W	富士通ゼネラル
	団本部指揮車	きくがわだんほんぶ 1	10W	〃
	連絡車	きくがわ7 2	10W	〃
	卓上型	きくがわほんぶ 1	10W	〃
		きくがわほんぶ 2	10W	〃
消防署	指揮車	きくがわしき 1	10W	〃
	消防車	きくがわぼんぶ 1	10W	〃
	大型水槽車	きくがわすいそう 1	10W	〃
	消防車	きくがわたんく 1	10W	〃
	化学車	きくがわかがく 1	10W	〃
	救助工作車	きくがわきゆうじょ 1	10W	〃
	資機材搬送車	きくがわ7 1	10W	〃
	連絡車	きくがわ7 3	10W	〃
	救急車	きゆうきゆうきくがわ 1	10W	〃
		きゆうきゆうきくがわ 2	10W	〃
		きゆうきゆうきくがわ 3	10W	〃
	可搬型	きくがわ1 0 0	10W	〃
	携帯型	きくがわ1 0 1	5W	〃
		きくがわ1 0 2	5W	〃
		きくがわ1 0 3	5W	〃
		きくがわ1 0 4	5W	〃
		きくがわ1 0 5	5W	〃
		きくがわ1 0 6	5W	〃
		きくがわ1 0 7	5W	〃
		きくがわ1 0 8	5W	〃
市役所	菊川市危機管理課	きくがわほんぶ 3	10W	〃
消防署	携帯型（署活動波）	きくがわ2 0 1	1W	〃
		きくがわ2 0 2	1W	〃
		きくがわ2 1 1	1W	〃
		きくがわ2 1 2	1W	〃
		きくがわ2 1 3	1W	〃
		きくがわ2 1 4	1W	〃
		きくがわ2 1 5	1W	〃
		きくがわ2 1 6	1W	〃
		きくがわ2 1 7	1W	〃
		きくがわ2 1 8	1W	〃
		きくがわ2 1 9	1W	〃
		きくがわ2 2 0	1W	〃
		きくがわ2 2 1	1W	〃
		きくがわ2 2 2	1W	〃
		きくがわ2 2 3	1W	〃
		きくがわ2 3 1	1W	〃
		きくがわ2 3 2	1W	〃
	携帯型（防災相互波）	きくがわぼうたい 1 0 1	5W	〃
		きくがわぼうたい 1 0 2	5W	〃
職 員	レシーバー（受令器）	1 4 台	—	〃

2 菊川市消防本部通信系統図



消防用車両配置状況

(令和4年4月1日 現在)

	種 別	車 名	登録番号	年 式	種別・型式等	呼 称
消 防 本 部 ・ 消 防 署	消 防 車	日 野	浜松 800 す 7167	H29	水槽付消防ポンプ自動車 (水量：600 L)	菊川ポンプ 1
	大 型 水 槽 車	日 野	浜松 800 は 1127	H30	大型水槽付消防ポンプ自動車 (水量：10,000 L)	菊川水槽 1
	消 防 車	日 野	浜松 800 と 3	H20	水槽付消防ポンプ自動車 (水量：1,500 L)	菊川タンク 1
	化 学 車	日 野	浜松 800 て 5	H18	特殊化学消防ポンプ自動車Ⅱ型 (水量：1,300 L、薬液量：500 L)	菊川化学 1
	救 助 工 作 車	日 野	浜松 830 す 2021	R 3	救助工作車Ⅱ型 クレーン・ウインチ (前後) 上昇式照明装置付	菊川救助 1
	救 急 車	トヨタ	浜松 830 す 991	R 1	高規格救急自動車	救急菊川 1
	救 急 車	トヨタ	浜松 830 す 992	H25	高規格救急自動車	救急菊川 2
	救 急 車	トヨタ	浜松 830 す 993	H29	高規格救急自動車	救急菊川 3
	司 令 車	トヨタ	浜松 800 す 5799	H27	プリウス	菊川 5 1
	指 揮 車	トヨタ	浜松 800 す 6856	H29	ハイエース	菊川指揮 1
	資機材搬送車	トヨタ	浜松 830 す 71	H18	ダイナ トヨエース トラック シングルキャブ 1.5 t 積	菊川 7 1
	連 絡 車	スズキ	浜松 480 す 8931	H27	エブリィ	菊川 7 2
	連 絡 車	ダイハツ	浜松 880 あ 1019	H28	ハイゼットカーゴ	菊川 7 3
	連 絡 車	ニッサン	浜松 502 せ 8565	H26	バネット	

機械器具の保有状況

1 主要消防機具器材の状況

(令和4年4月1日 現在)

品 名	計	内車両積載数				倉庫
		ポンプ車	タンク車	化学車	大型水槽車	
空気呼吸器	23	4	4	4	3	8
40mmホース	3	0	1	0	0	2
50mmホース	103	10	12	12	4	65
65mmホース	118	10	15	15	20	58
無反動ノズル	7	1	2	2	2	0
ストレートノズル	3	0	1	2	0	0
ガンタイプノズル	8	2	3	1	2	0
泡ノズル	4	2	1	1	0	0
消火栓スタンド	4	1	1	1	1	0
ホースカー	2	0	1	1	0	0
泡消火薬剤 (20ℓ)	59	2	2	25	0	30
ホースブリッジ	10	2	2	2	4	0
鳶口	8	2	2	2	2	0
ハンマー	4	1	1	1	0	1
斧	5	1	3	0	0	1
バール	29	1	1	1	1	25
エンジンカッター	2	1	1	0	0	0
チェーンソー	7	0	0	0	0	7
発電機	7	1	2	1	0	3
投光器	9	1	1	2	1	4
三連梯子	3	1	1	1	0	0
単梯子	2	1	1	0	0	0

2 主要原子力資機材の状況

(令和4年4月1日 現在)

品 名	計	品 名	計
電離箱式サーベイメータ	4	防護服	530
GM管式サーベイメータ	5	ゴーグル	425
シンチレーションサーベイメータ	2	防毒・防塵マスク	612
ポケット線量計	76	エアータンク式	1
R I 防護服	4	除染シャワー式	1

3 救助隊資機材の状況

(令和4年4月1日 現在)

品 名			計	品 名			計
一般救助用器具	かぎ付きはしご		1	隊員保護用器具	耐電手袋		4
	三連梯子		1		耐電衣		2
	ワイヤー梯子		1		耐電ズボン		2
	空気式救助マット		1		耐電長靴		2
	救命索発射銃（レスキューショット）		1		携帯警報器		5
	縛帯	被災者つり上げベルト	1		墜落制止用器具（腰ベルト型）		5
		サバイバースリング	1		墜落制止用器具（フルハーネス型）		5
		ベストスリング	1		化学防護服		5
		エバックハーネス	1		防毒マスク		5
平坦架		1	水難救助用器具	救命胴衣		5	
重量物排除用器具	油圧スプレッター	1		救命浮環	スローバッグ	2	
	可搬ウィンチ	1			ライフボール	2	
	救助用支柱器具	1			小型船舶用救命浮環	2	
	マット型空気ジャッキ 一式			1	救命ボート（ハイパロン製）		2
				救命ボート（アルミ製）		1	
切断用器具	油圧切断機		1	山岳救助用器具	バスケット担架		2
	エンジンカッター		1		スタティックロープ		7
	チェーンソー		1		パーティカルストレッチャー		1
	鉄線カッター		1		呼吸保護用器具	空気呼吸器	
	空気切断機		1	送排風機		1	
破壊用器具	携帯用コンクリート破壊器具		1	送風機		1	
	万能斧（斧・ハリガン・弁慶）		3	投光器		1	
	ハンマー		1	携帯投光器		2	
検知・測定用器具	放射線測定器（電子ポケット線量計）		5	その他の救助用器具	携帯拡声器		1
	ガス検知器	可燃性ガス測定可能	2		応急処置セット		1
		有毒ガス測定可能			発電機		1
		酸素濃度測定可能					

4 高度救命処置用資機材等保有状況

(令和4年4月1日 現在)

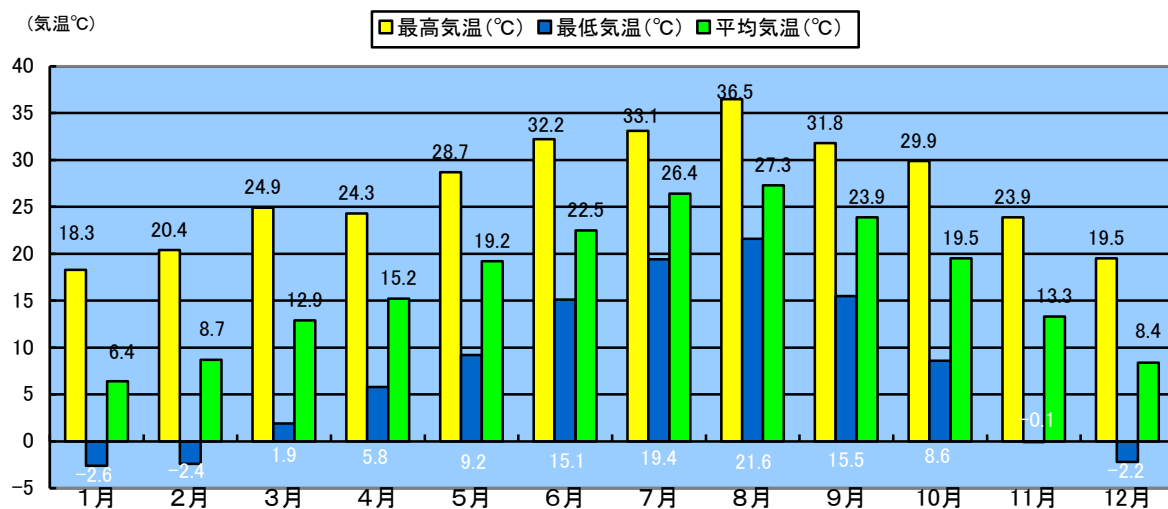
品 名	計	品 名	計
ビデオ喉頭鏡	3	患者監視装置	3
除細動器	6	高圧蒸気滅菌器	1
血糖測定器	3	オゾンガス除染装置	1
血中酸素飽和度測定器	3	自動式人工呼吸器	4

水利・気象統計
消防水利現有数

(令和4年4月1日 現在)

水利種別 方 面 隊 管 轄 分 団			第一方面		第二方面					第三方面			合 計
			堀 之 内	河 城	六 郷 第 一	六 郷 第 二	加 茂	内 田	横 地	小 笠 北	小 笠 南	小 笠 東	
消 火 栓	基 準	地 下 式	64	47	50	33	69	29	32	38	13	26	401
		地 上 式	3	1	1					1	1	2	9
	基準外	地 下 式	17	38	18	25	13	24	15	42	17	32	241
		地 上 式									3	2	5
	合 計	地 下 式	81	85	68	58	82	53	47	80	30	58	642
		地 上 式	3	1	1					1	4	4	14
防 火 水 槽	20 m³未満									21	6	25	52
	20～40 m³		2	3	1	2	4	1		4	3	3	23
	40～60 m³		27	41	24	39	24	35	26	56	34	35	341
	うち耐震		23	36	21	31	20	26	20	51	31	33	292
	60～100 m³			1	1			2		2			6
	うち耐震									1			1
	100 m³以上		1		1		1		1	2	1	2	9
	うち耐震		1		1		1		1	2	1	2	9
	合 計		30	45	27	41	29	38	27	85	44	65	431
うち耐震		24	36	22	31	21	26	21	54	32	35	302	
そ の 他 水 利	プール等		2	1	1	1	2	1	1	2	1	1	13
	池・濠等										2	1	3
	河川・溝等												0
	合 計		2	1	1	1	2	1	1	2	3	2	16
総 数			116	132	97	100	113	92	75	168	81	129	1,103

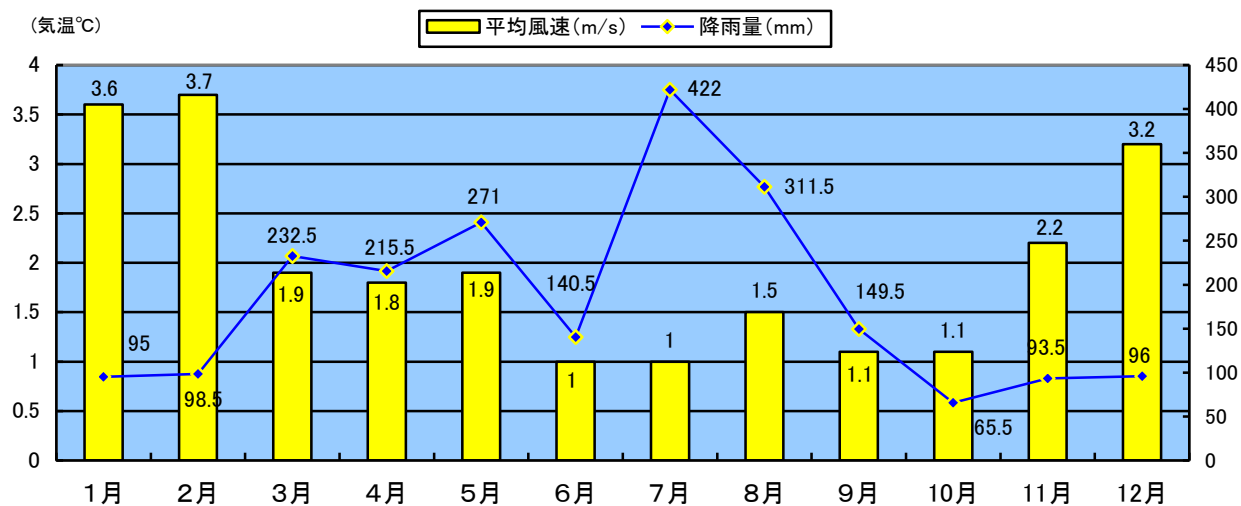
月別気温状況



(令和3年)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
最高気温	18.3	20.4	24.9	24.3	28.7	32.2	33.1	36.5	31.8	29.9	23.9	19.5	
最低気温	-2.6	-2.4	1.9	5.8	9.2	15.1	19.4	21.6	15.5	8.6	-0.1	-2.2	
平均気温	6.4	8.7	12.9	15.2	19.2	22.5	26.4	27.3	23.9	19.5	13.3	8.4	17.0

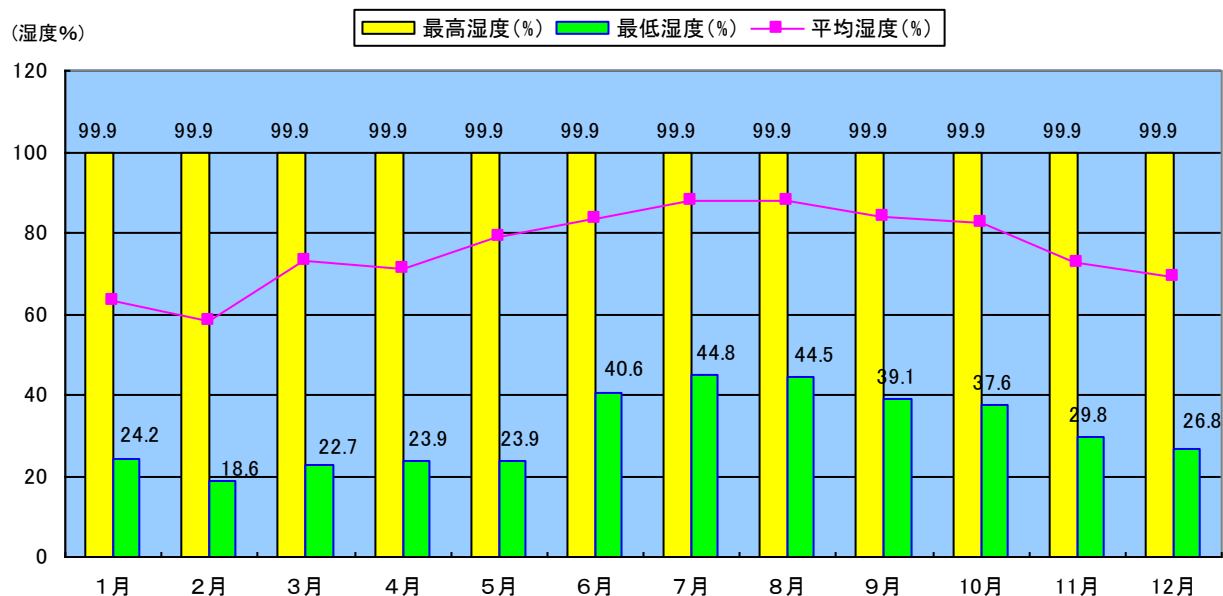
月別平均風速・降雨量状況



(令和3年)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平均風速	3.6	3.7	1.9	1.8	1.9	1.0	1.0	1.5	1.1	1.1	2.2	3.2	
最多風向	西	西	静穏	静穏	西	静穏	静穏	静穏	静穏	静穏	西	西	
降雨量	95.0	98.5	232.5	215.5	271.0	140.5	422.0	311.5	149.5	65.5	93.5	96.0	2,191.0

月別湿度状況



(令和3年)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
最高湿度	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9
最低湿度	24.2	18.6	22.7	23.9	23.9	40.6	44.8	44.5	39.1	37.6	29.8	26.8	18.6
平均湿度	63.0	58.2	72.9	71.1	79.0	83.6	88.1	88.0	84.0	82.5	72.8	68.9	76.0
実効湿度	63.1	58.0	72.5	71.2	79.1	83.2	88.0	88.3	83.8	82.4	73.0	69.4	76.0

過去5年間の気象状況

	瞬間 最大風速 (m/s)	平均風速 (m/s)	最高気温 (℃)	最低気温 (℃)	平均気温 (℃)	最高湿度 (%)	最低湿度 (%)	平均湿度 (%)	最高雨量 (mm)	総雨量 (mm)
平成29年	26.0	2.1	37.7	-4.7	16.1	99.9	12.1	67.2	561.0	1,834.5
平成30年	35.5	1.9	35.9	-4.8	17.0	99.9	11.5	71.6	414.5	2,018.5
令和元年	31.0	3.4	34.2	-0.3	17.4	99.9	11.8	71.4	423.5	1,843.5
令和2年	24.8	1.9	37.6	-2.5	17.1	99.9	11.9	75.7	605.5	2,101.5
令和3年	25.2	2.0	36.5	-2.6	17.0	99.9	18.6	76.0	422.0	2,191.0

目 次

菊川市消防団のあゆみ	-----	- 67 -
菊川市消防団の歴代消防団長・消防副団長	-----	- 69 -
菊川市消防団組織	-----	- 70 -
消防団方面隊別の自治会名・人口・世帯数一覧表	-----	- 71 -
消防団管轄区域	-----	- 72 -
消防団員の状況	-----	- 72 -
1 消防団員年齢状況	-----	- 72 -
2 消防団員在職年数別状況	-----	- 73 -
3 消防団員職業別状況	-----	- 73 -
消防団消防ポンプ自動車等配置状況	-----	- 74 -

菊 川 市 消 防 団 の あ ゆ み

年 月	変 遷
平成17年 1月	新市合併に伴い、菊川市消防団を設置 消防団員定数 364名(本部員13名・分団役員91名・分団員260名) 消防団員 363名 8分団16部 車両16台 可搬ポンプ16台
4月	消防再編に伴い、消防団事務局が菊川市安全課より消防本部に移管
8月	第30回静岡県消防操法大会ポンプ車操法の部出場
平成18年 1月	消防ポンプ自動車(CD-1型) 第1分団第1部及び第4分団第2部更新
4月	消防団員 358名
12月	消防ポンプ自動車(CD-1型) 第1分団第2部及び第4分団第1部更新
平成19年 4月	消防団員 363名
12月	消防ポンプ自動車(CD-1型) 第8分団第2部更新 旧車両は日本消防協会を通じてモザンビーク共和国に寄贈
平成20年 3月	自治体消防制度60周年記念、優良消防団表彰
4月	消防団員 358名
12月	消防ポンプ自動車(CD-1型) 第2分団第2部及び第5分団更新
平成21年 4月	消防団員 352名
6月	指揮広報車(菊川62)更新
7月	第32回静岡県消防操法大会小型ポンプ操法の部出場 第3位入賞
11月	消防ポンプ自動車(CD-1型) 第2分団第3部及び第8分団第1部更新
平成22年 3月	消防庁官表彰功労章を宮城也寸志団長が受章
4月	消防団員 343名
7月	女性消防団発足(女性団員5名) 消防ポンプ自動車(CD-1型) 第3分団第1部更新
9月	小型動力可搬ポンプ更新(第1分団第1部、第2分団第2部、第4分団第2部)
平成23年 4月	消防団員 348名(うち女性団員6名)
9月	第33回静岡県消防操法大会ポンプ車操法の部出場
11月	消防ポンプ自動車(CD-1型) 第1分団第3部更新
平成24年 4月	消防団員 341名(うち女性団員7名) 退職消防団員報償(第1号銀杯)を宮城也寸志前団長が受章
11月	消防ポンプ自動車(CD-1型) 第2分団第1部更新
平成25年 4月	消防団員 319名(うち女性団員8名) 日本消防協会表彰、功績章を森下雅也前団長が受章
11月	消防ポンプ自動車(CD-1型) 第3分団第3部更新
平成26年 1月	退職消防団員報償(第2号銀杯)を森下雅也前団長が受章
4月	消防団員 319名(うち女性団員8名)
平成27年 1月	退職消防団員報償(第2号銀杯)を山口真史前副団長が受章
3月	第7分団蔵置所完成 運用開始
4月	消防団員 319名(うち女性団員10名)
9月	第35回静岡県消防操法大会小型ポンプ操法の部出場
平成28年 1月	救助資機材搭載型消防ポンプ自動車を消防庁より無償貸与

平成28年	2月	第1分団1部蔵置所完成 運用開始
	4月	消防団員 327名(うち女性団員9名) 日本消防協会表彰、精積章を二俣和弘副団長が受章
	11月	第3分団第2部蔵置所完成 運用開始
平成29年	1月	退職消防団員報償(第2号銀杯)を内山博幸前団長が受章
	2月	第5分団蔵置所完成 運用開始
	4月	消防ポンプ自動車(CD-1型) 第3分団第2部更新 消防団再編成に伴い、分団を10分団に改編し市役所、分団機能別団員を採用 消防団員 322名(うち女性団員8名、機能別団員16名) 市役所へポンプ車を配置し、市役所職員による機能別団員の運用を開始 日本消防協会表彰、精積章を今野広幸団長が受章 日本消防協会表彰、功績章を二俣和弘副団長が受章
	9月	第36回静岡県消防操法大会ポンプ車操法の部出場 準優勝
	12月	加茂分団蔵置所完成 運用開始
平成30年	4月	消防団員 328名(うち女性団員8名、機能別団員18名)
平成31年	4月	消防団員 316名(うち女性団員7名、機能別団員22名) 日本消防協会表彰、功績章を今野広幸団長が受章 日本消防協会表彰、精積章を進士展好副団長、田島康順本部長が受章
令和元年	11月	消防ポンプ自動車(CD-1型) 小笠北分団2号車(嶺田蔵置所)更新
	12月	横地分団蔵置所完成 運用開始 退職消防団員報償(第2号銀杯)を二俣和弘前副団長が受章
令和2年	3月	救助資機材・小型動力ポンプ搭載型多機能車を総務省消防庁より無償貸与
	4月	消防団員 306名(うち女性団員7名、機能別団員24名)
	11月	消防ポンプ自動車(CD-1型) 小笠南分団更新
令和3年	1月	日本消防協会から団本部指揮車を受贈
	2月	退職消防団員報償(第2号銀杯)を今野広幸前団長・進士展好前副団長・田島康順前本部長が受章
	4月	消防団員 304名(うち女性団員12名、機能別団員32名) 日本消防協会表彰、精積章を曾根法明前副団長、松村奈津前本部長、赤堀直樹団員が受章
	12月	退職消防団員報償(第2号銀杯)を曾根法明前副団長が受章
令和4年	4月	消防団員数 283名(うち女性団員12名、機能別団員33名) 日本消防協会表彰、精積章を戸塚誠也副団長が受章

菊川市消防団の歴代消防団長・消防副団長

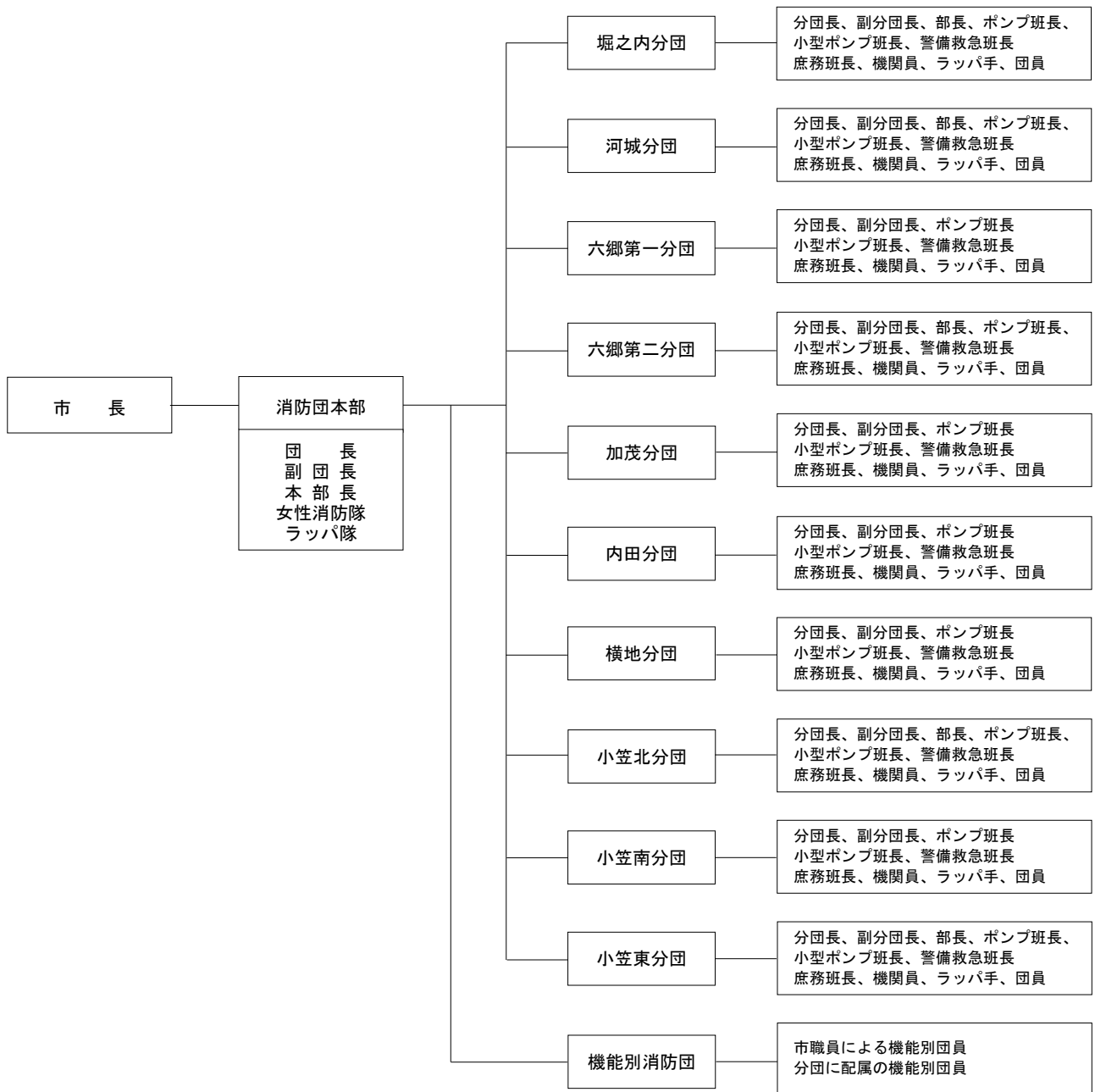
【消防団長】

氏 名	在 職 期 間	在職年数
宮 城 也 寸 志	平成 17 年 1 月 ～ 平成 23 年 1 月	6 年
森 下 雅 也	平成 23 年 1 月 ～ 平成 25 年 3 月	2 年 3 月
内 山 博 幸	平成 25 年 4 月 ～ 平成 28 年 3 月	3 年
今 野 広 幸	平成 28 年 4 月 ～ 令和 2 年 3 月	4 年
縣 佑 次	令和 2 年 4 月 ～ 現 在 に 至 る	—

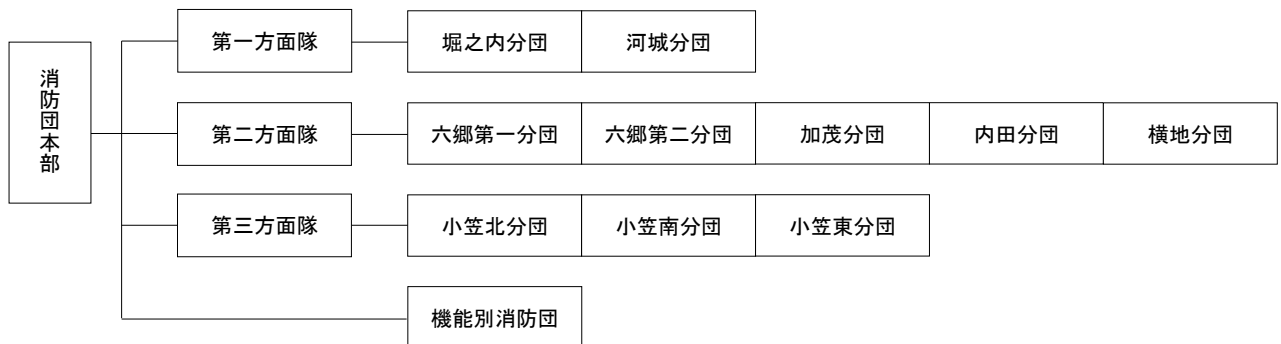
【消防副団長】

氏 名	在 職 期 間	在職年数
長 岡 宏 臣	平成 17 年 1 月 ～ 平成 18 年 3 月	1 年 3 月
松 下 知 生	平成 17 年 1 月 ～ 平成 18 年 3 月	1 年 3 月
進 士 克 義	平成 17 年 1 月 ～ 平成 19 年 3 月	2 年 3 月
山 本 弘 章	平成 17 年 1 月 ～ 平成 19 年 3 月	2 年 3 月
黒 田 俊 之	平成 17 年 1 月 ～ 平成 19 年 3 月	2 年 3 月
近 藤 善 英	平成 18 年 4 月 ～ 平成 20 年 3 月	2 年
竹 澤 健 一	平成 19 年 4 月 ～ 平成 21 年 3 月	2 年
山 名 裕 隆	平成 19 年 4 月 ～ 平成 21 年 3 月	2 年
鈴 木 宏 彦	平成 19 年 4 月 ～ 平成 22 年 3 月	3 年
森 下 雅 也	平成 18 年 4 月 ～ 平成 23 年 1 月	4 年 10 月
竹 内 光 晴	平成 21 年 4 月 ～ 平成 23 年 3 月	2 年
牧 野 哲 也	平成 20 年 4 月 ～ 平成 24 年 3 月	4 年
内 山 博 幸	平成 21 年 4 月 ～ 平成 25 年 3 月	4 年
山 口 真 史	平成 22 年 4 月 ～ 平成 26 年 3 月	4 年
鈴 木 伸 明	平成 23 年 4 月 ～ 平成 26 年 3 月	3 年
村 松 覚	平成 23 年 4 月 ～ 平成 26 年 3 月	3 年
山 内 一 郎	平成 24 年 4 月 ～ 平成 27 年 3 月	3 年
今 野 広 幸	平成 25 年 4 月 ～ 平成 28 年 3 月	3 年
二 俣 和 弘	平成 26 年 4 月 ～ 平成 31 年 3 月	5 年
縣 佑 次	平成 27 年 4 月 ～ 令和 2 年 3 月	5 年
進 士 展 好	平成 27 年 4 月 ～ 令和 2 年 3 月	5 年
宮 城 尚 史	平成 31 年 4 月 ～ 令和 2 年 3 月	1 年
曾 根 法 明	平成 30 年 4 月 ～ 令和 3 年 3 月	3 年
伊 藤 勝 敏	平成 26 年 4 月 ～ 令和 4 年 3 月	8 年
戸 塚 雅 彦	令和 3 年 4 月 ～ 令和 4 年 3 月	1 年
野 中 恵 介	令和 2 年 4 月 ～ 現 在 に 至 る	—
黒 田 聖 之	令和 2 年 4 月 ～ 現 在 に 至 る	—
戸 塚 誠 也	令和 2 年 4 月 ～ 現 在 に 至 る	—
山 下 竜 弥	令和 4 年 4 月 ～ 現 在 に 至 る	—
平 川 悠 太	令和 4 年 4 月 ～ 現 在 に 至 る	—

菊 川 市 消 防 団 組 織



<災害時の活動組織>



消防団方面隊別の自治会名・人口・世帯数一覧表

(令和4年4月1日 現在)

消防団		自治会名	人口 (人)	世帯数
第一方面隊	堀之内分団	公文名、沢田、島川、田ヶ谷、堀田、堀之内、日吉町、宮前、西通り、本通り上、本通り下、新通、初咲町、日之出町一丁目、緑ヶ丘、柳町	6,375	2,582
	河城分団	富士見台、吉沢、上倉沢、下倉沢、友田、東富田、西富田、沢水加、和田、潮海寺上、潮海寺中、潮海寺下、六本松	4,552	1,573
	小計		10,927	4,155
第二方面隊	六郷第一分団	五丁目上、五丁目下、打上、日之出町二丁目、上本所、雇用促進第二、青葉台一丁目、青葉台二丁目、青葉台三丁目、仲島、県営住宅、上本所団地、雇用促進第一、宮下	5,860	2,562
	六郷第二分団	島、下本所、下半済、小出、つつじヶ丘、神尾、牛渕、牧之原上、牧之原下、虹の丘	4,109	1,563
	加茂分団	白岩下、白岩段、西袋、三軒家、小川端、長池、白岩東	6,856	2,782
	内田分団	森、御門、杉森、政所、月岡、東平尾、西平尾、稲荷部、高田、段平尾、平尾	3,099	1,056
	横地分団	奥横地、段横地、川島、西横地、土橋、奈良野、三沢、星ヶ丘、横地雇用促進	2,284	817
	小計		22,208	8,780
第三方面隊	小笠北分団	上平川、池村、堤、志瑞、石原、八幡谷、東組、奥の谷、新道、下新道、本町、岳洋、五反通、志茂組、東嶺田、中嶺田、西嶺田、大石、西ヶ崎、堂山、平ノ都	7,375	2,921
	小笠南分団	河東西、河東中、東河東、南町、山西、高橋口、高橋中、大門、南ニュータウン、サンライズ、原磯部（一部）	2,864	1,008
	小笠東分団	布引原、丹野、古谷、川東、川中、川西、三協、棚草、赤土上、赤土下、赤土団地、城山下、花水木、原磯部（一部）	4,346	1,615
	小計		14,585	5,544
合計			47,720	18,479

消防団管轄区域

(令和4年4月1日 現在)

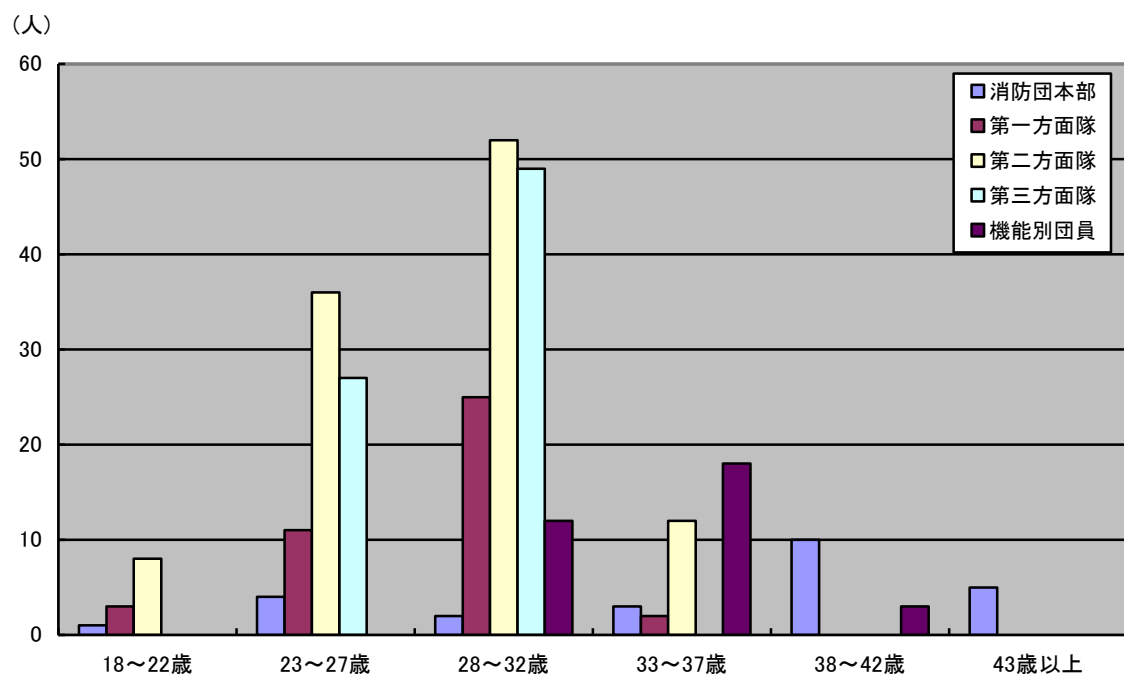
区分 方面隊・管轄分団等		消防団本部	第一方面隊	第二方面隊	第三方面隊	機能別消防団	合計
			堀之内分団 河城分団	六郷第一分団 六郷第二分団 加茂分団 内田分団 横地分団	小笠北分団 小笠南分団 小笠東分団		
定員		23	80	140	95	26	364
実員		25	41	108	76	33	283
増減		2	△39	△32	△19	7	△81
車両等	指揮・広報車	2					2
	消防ポンプ車		4	7	5	1	17
	可搬ポンプ	1	4	7	4		16

消防団員の状況

1 消防団員年齢状況

(令和4年4月1日 現在)

	18～22歳	23～27歳	28～32歳	33～37歳	38～42歳	43歳以上	平均年齢
消防団本部	1	4	2	3	10	5	36.8 歳
第一方面隊	3	11	25	2			28.3 歳
第二方面隊	8	36	52	12			27.9 歳
第三方面隊		27	49				28.2 歳
機能別団員			12	18	3		34.2 歳
合計	12	78	140	35	13	5	29.6 歳



2 消防団員在職年数別状況

(令和4年4月1日 現在)

	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上	合 計
消防団本部	19	5	1			25
第一方面隊	20	19	1	1		41
第二方面隊	60	37	11			108
第三方面隊	49	27				76
機能別団員	32	1				33
合 計	180	89	13	1		283

3 消防団員職業別状況

(令和4年4月1日 現在)

分団別 職業別	消防 団本 部	第一方面隊		第二方面隊					第三方面隊			機 能 別 団 員	合 計
		堀 之内 分 団	河 城 分 団	六 郷 第 一 分 団	六 郷 第 二 分 団	加 茂 分 団	内 田 分 団	横 地 分 団	小 笠 北 分 団	小 笠 南 分 団	小 笠 東 分 団		
農 業	1				1			1			1	3	7
林 業													
漁 業													
鉱 業												1	1
建 築 業	2		2		1	2				2	2	1	12
製 造 業	6	8	5	2	15	10	12	15	23	11	11	12	130
電気・ガス・熱供給・水道業					2	1	1			2		1	7
運 輸 ・ 通 信 業					1	2		1	1	2			7
卸売・小売業・飲食店	1			2	1							1	5
金 融 ・ 保 険 業	1	1					1	1					4
不 動 産 業						1							1
サ ー ビ ス 業	6	4	3	1	1	3	2	1	1		4	3	29
国 家 公 務 員						1							1
地 方 公 務 員	3	8	7	6	4		5	6	6		4	7	56
特殊法人等公務員に準ずる職員	5	1			1			1	1	1		3	13
分 類 不 能 の 産 業									2				2
そ の 他		2			2	1			2			1	8
合 計	25	24	17	11	29	21	21	26	36	18	22	33	283

消防団消防ポンプ自動車等配置状況

(令和4年4月1日 現在)

消防団		登録番号	配置場所	車名等	年式	型式等	級別	エンジン 排気量(CC)
消防団本部		浜松 800 す 8632	消防団本部	日 産	R 2	救 助 資 機 材 小型動力ポンプ 搭載型多機能車 団本部広報車	B-2	2,480
		浜松 800 す 9086	消防団本部	三 菱	R 2	団本部指揮車	8人乗り	2,260
機能別消防団（市職員）		浜松 800 す 6233	菊川市役所	い す ゞ	H27	救助資機材搭載型 C D - 1	A-2	2,990
第一方面隊	堀之内分団	浜松 830 さ 511	堀之内	日 野	H18	C D - 1 型	A-2	4,000
				トーハツ	H22	可搬ポンプ	C-1	209
		浜松 830 さ 512	西 方	い す ゞ	H18	C D - 1 型	A-2	4,770
				シバウラ	H18	可搬ポンプ	B-2	618
	河城分団	浜松 830 さ 541	潮 海 寺	い す ゞ	H18	C D - 1 型	A-2	4,770
				シバウラ	H18	可搬ポンプ	B-2	618
		浜松 830 さ 542	吉 沢	日 野	H18	C D - 1 型	A-2	4,000
				トーハツ	H22	可搬ポンプ	C-1	209
第二方面隊	六郷第一分団	浜松 830 さ 513	本 所	い す ゞ	H23	C D - 1 型	A-2	2,990
				トーハツ	H21	可搬ポンプ	C-1	209
	六郷第二分団	浜松 830 せ 521	下 本 所	い す ゞ	H24	C D - 1 型	A-2	2,990
				シバウラ	H19	可搬ポンプ	B-2	618
		浜松 830 さ 522	牛 渕	い す ゞ	H20	C D - 1 型	A-2	2,990
				トーハツ	H22	可搬ポンプ	C-1	182
		浜松 830 さ 523	牧 之 原	い す ゞ	H21	C D - 1 型	A-2	2,990
				トーハツ	H21	可搬ポンプ	C-1	209
	加茂分団	浜松 830 さ 531	加 茂	い す ゞ	H22	C D - 1 型	A-2	2,990
				トーハツ	H20	可搬ポンプ	B-2	436
	内田分団	浜松 800 す 6816	中 内 田	い す ゞ	H29	C D - 1 型	A-2	2,990
				シバウラ	H19	可搬ポンプ	C-1	182
	横地分団	浜松 830 さ 533	東 横 地	い す ゞ	H25	C D - 1 型	A-2	2,990
				トーハツ	H21	可搬ポンプ	C-1	209
第三方面隊	小笠北分団	浜松 830 さ 550	下 平 川	い す ゞ	H20	C D - 1 型	A-2	2,990
				シバウラ	H15	可搬ポンプ	B-2	618
		浜松 800 す 8355	嶺 田	日 野	R 1	C D - 1 型	A-2	4,000
				シバウラ	R 1	可搬ポンプ	B-2	526
	小笠南分団	浜松 800 す 8929	高 橋	い す ゞ	R 2	C D - 1 型	A-2	2,990
				シバウラ	R 2	可搬ポンプ	B-2	436
	小笠東分団	浜松 830 さ 581	川 上	い す ゞ	H21	C D - 1 型	A-2	2,990
				シバウラ	H16	可搬ポンプ	B-2	436
		浜松 830 さ 582	赤 土 原	い す ゞ	H19	C D - 1 型	A-2	2,990

令和3年版

消 防 年 報

令和4年6月発行

編集・発行

菊川市消防本部

静岡県菊川市東横地385番地

TEL (0537) 35-0119

FAX (0537) 36-4996

E-mail syoubou@city.kikugawa.shizuoka.jp